













# 【全体】 受検情報

| 対象受検者数 | 有効受検者数 |      | 未受検者数 |    | 高ストレス者数 |    |
|--------|--------|------|-------|----|---------|----|
| 1185名  | 1185名  | 100% | 0名    | 0% | 99名     | 8% |

| 集団名  | 有効受検者数 |     |      |       |
|------|--------|-----|------|-------|
|      | 男性     | 女性  | 合計   | 割合    |
| A課   | 9      | 7   | 16   | 1.4%  |
| B課   | 17     | 10  | 27   | 2.3%  |
| C課   | 23     | 19  | 42   | 3.5%  |
| D課   | 30     | 13  | 43   | 3.6%  |
| E課   | 28     | 14  | 42   | 3.5%  |
| F課   | 6      | 39  | 45   | 3.8%  |
| G課   | 11     | 30  | 41   | 3.5%  |
| H課   | 10     | 27  | 37   | 3.1%  |
| I課   | 33     | 5   | 38   | 3.2%  |
| J課   | 41     | 2   | 43   | 3.6%  |
| K課   | 38     | 4   | 42   | 3.5%  |
| L課   | 524    | 245 | 769  | 65.0% |
| 全体合計 | 770    | 415 | 1185 | 100%  |

# 【全体】 集団分析結果一覧

| 集団名   | ストレス要因 |           |               |               | 健康リスク          |                    | 総合判定  |
|-------|--------|-----------|---------------|---------------|----------------|--------------------|---|
|       | 仕事の負担  | 仕事のコントロール | 上司とのコミュニケーション | 同僚とのコミュニケーション | 仕事の負担 & コントロール | 上司 & 同僚とのコミュニケーション |   |
| A課    | 6.8    | 6.8       | 8.7           | 8.8           | 95             | 83                 | 78     |
| B課    | 6.5    | 7.6       | 7.7           | 8.1           | 86             | 98                 | 84     |
| C課    | 8.0    | 6.9       | 8.1           | 8.5           | 103            | 90                 | 92     |
| D課    | 8.9    | 6.8       | 8.2           | 8.8           | 111            | 87                 | 96     |
| E課    | 7.4    | 7.0       | 8.0           | 8.4           | 98             | 92                 | 90     |
| F課    | 7.9    | 6.3       | 7.7           | 8.1           | 108            | 98                 | 105   |
| G課    | 7.6    | 6.2       | 7.1           | 8.0           | 107            | 104                | 111  |
| H課    | 7.6    | 7.1       | 8.1           | 8.4           | 98             | 91                 | 89   |
| I課    | 7.0    | 6.5       | 8.2           | 8.4           | 99             | 90                 | 89   |
| J課    | 7.2    | 6.0       | 8.0           | 8.4           | 105            | 92                 | 96   |
| K課    | 6.9    | 6.0       | 8.1           | 9.2           | 103            | 84                 | 86   |
| L課    | 7.4    | 7.4       | 7.6           | 8.1           | 94             | 99                 | 93   |
| 全体平均  | 7.5    | 7.1       | 7.7           | 8.2           | 98             | 97                 | 95  |
| 全国平均  | 8.4    | 7.7       | 7.5           | 8.1           | 100            | 100                | 100   |
| 業種別平均 | 8.9    | 7.8       | 7.8           | 8.2           | 103            | 98                 | 100   |

<健康リスク総合判定結果 判定基準>



・・・健康リスク 100 以下



・・・健康リスク 120 ～ 140



・・・健康リスク 101 ～ 119



・・・健康リスク 140 以上

※【全国平均】【業種平均】：ドクタートラスト 2016 年度調べ

ストレスチェック実施サービス 2016 年度実施分の一部<2016 年 2 月～ 2017 年 2 月実施>

企業・団体数：321、有効受検者数：72,311 人<男性 46,375 人 女性 25,936 人

※【全体平均】以下の数値は赤字で表示しています。

# 【全体】ストレス要因

## 1.1 仕事の負担

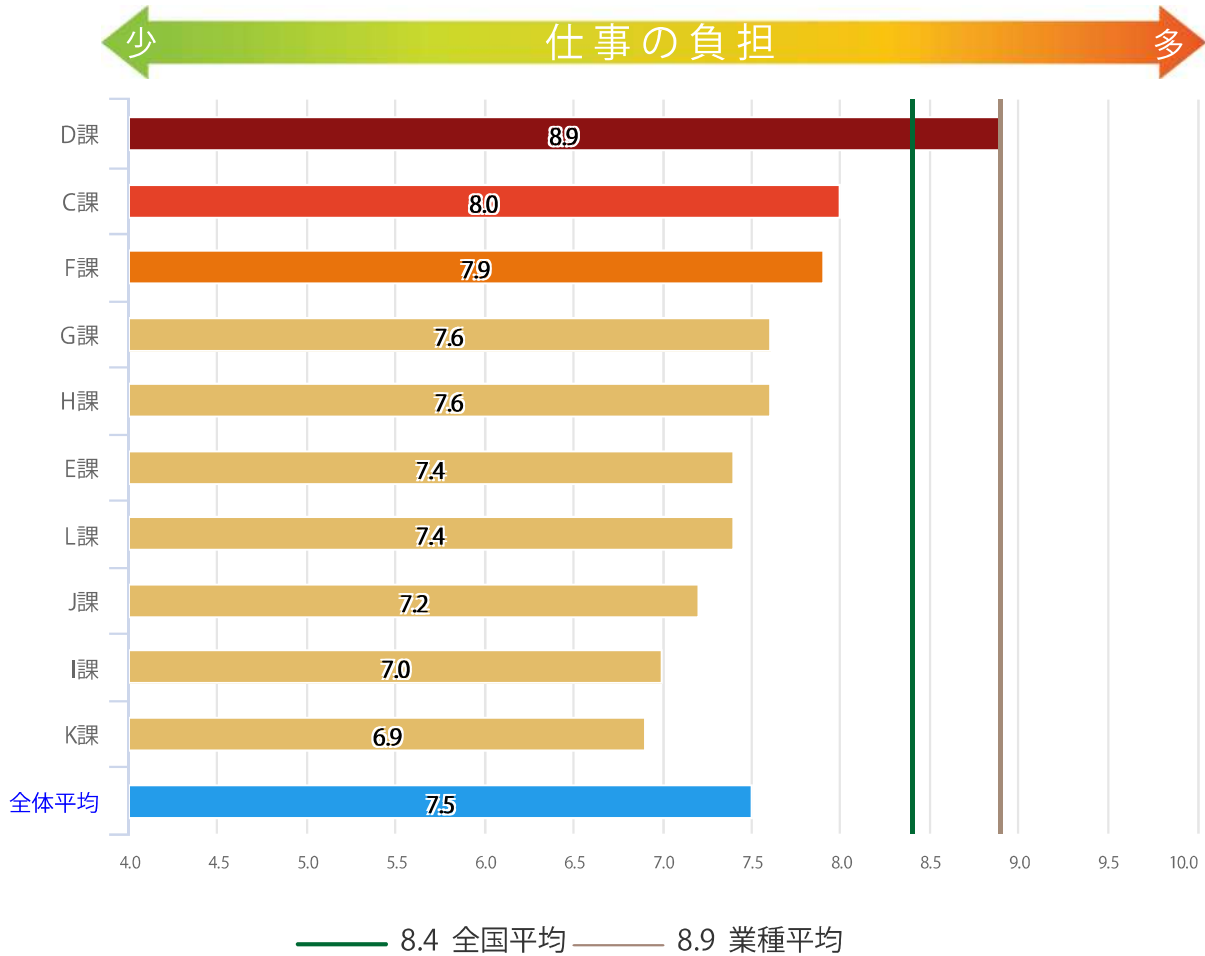
集団別 <下位>

「仕事の負担」とは受検者が感じている業務量、負荷・責任、困難さを表す数値です。数値が大きいほど、負担が多いことを示しています。

「仕事の負担」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- A-Q.1 非常にたくさんの仕事をしなければならない
- Q.2 時間内に仕事が処理しきれない
- Q.3 一生懸命働かなければならない

### 1.1 仕事の負担 < 集団別・下位 >



### < 傾向分析 >

\*全体平均は7.5であり、全国平均8.4を下回っています。

\*全体平均は7.5であり、業種平均8.9を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

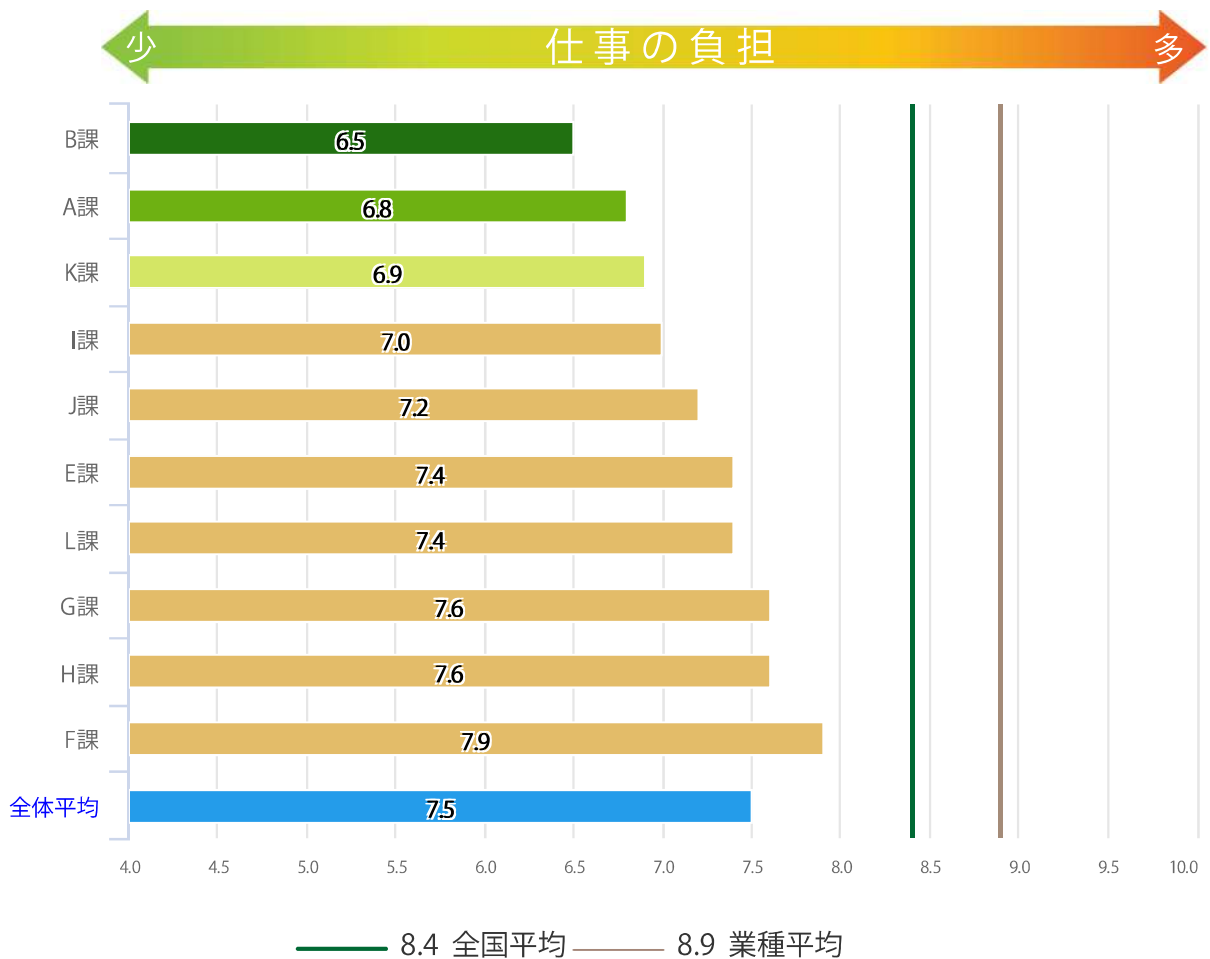
下位はD課、C課、F課などです。

上記の集団は、仕事の負担が多く、集団に課題があるようです。

課題のある集団では、「仕事量」「仕事の時間管理」「仕事の取組姿勢」に関して、負担を感じている人が少なからずいるようです。

これらの課題を克服するために、集団ごとの仕事の偏りを解消したり、課題解消ノウハウを全体で共有するなど、何らかの施策を講じる必要があるでしょう。

1.2 仕事の負担 <グループ別・上位>



< 傾向分析 >

\*全体平均は7.5であり、全国平均8.4を下回っています。

\*全体平均は7.5であり、業種平均8.9を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

上位はB課、A課、K課などです。

上記の集団は、仕事の負担が少なく、各自のストレス状況は比較的良好のようです。

今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

## 【全体】ストレス要因

### 2.1 仕事のコントロール

集団別 < 下位 >

「仕事のコントロール」とは受検者が感じている仕事の自由度、裁量の状態、意見や考えを反映できるかの程度を表しています。数値が高いほど、働きやすい状態を示しています。

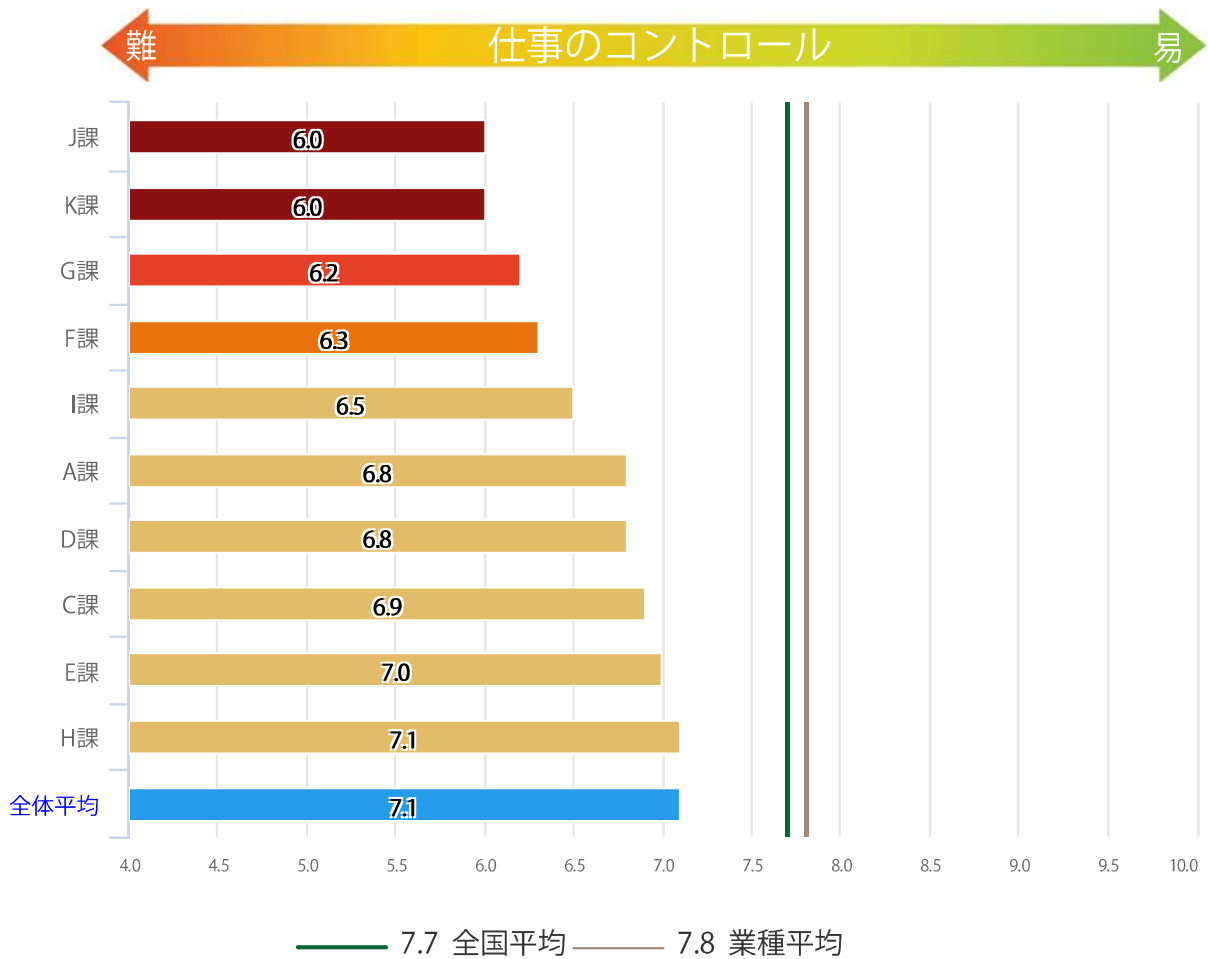
「仕事のコントロール」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

A-Q8 自分のペースで仕事ができる

Q.9 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる

Q.10 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

### 2.1 仕事のコントロール < 集団別・下位 >



### < 傾向分析 >

\*全体平均は7.1であり、全国平均7.7を下回っています。

\*全体平均は7.1であり、業種平均7.8を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

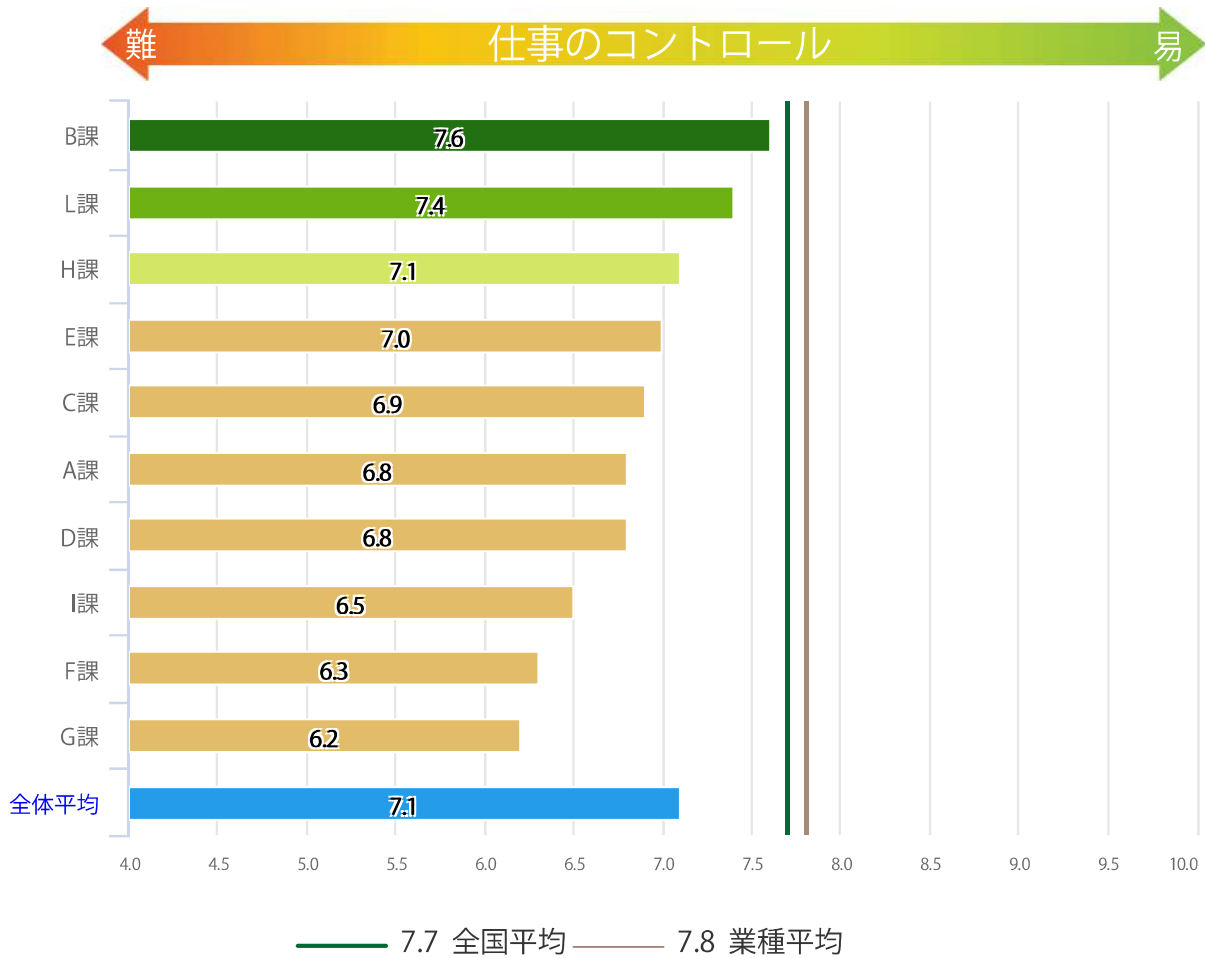
下位はJ課、K課、G課などです。

上記の集団は、仕事のコントロールが難しく、集団に課題があるようです。

課題のある集団では、「仕事を行うペース」「仕事の順番・やり方」「各自の意見の反映」に関して、負担を感じている人が少なからずいるようです。

これらの課題を克服するために、業務フローや指揮系統を見直したり、課題解消ノウハウを全体で共有するなど、何らかの施策を講じる必要があるでしょう。

2.2 仕事のコントロール < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

\*全体平均は7.1であり、全国平均7.7を下回っています。

\*全体平均は7.1であり、業種平均7.8を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

上位はB課、L課、H課などです。

上記の集団は、仕事のコントロールが容易で、各自のストレス状況は比較的良好のようです。

今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

## 【全体】ストレス要因

### 3.1 上司とのコミュニケーション

集団別 <下位>

「上司とのコミュニケーション」とは受検者が感じている上司との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係を示しています。

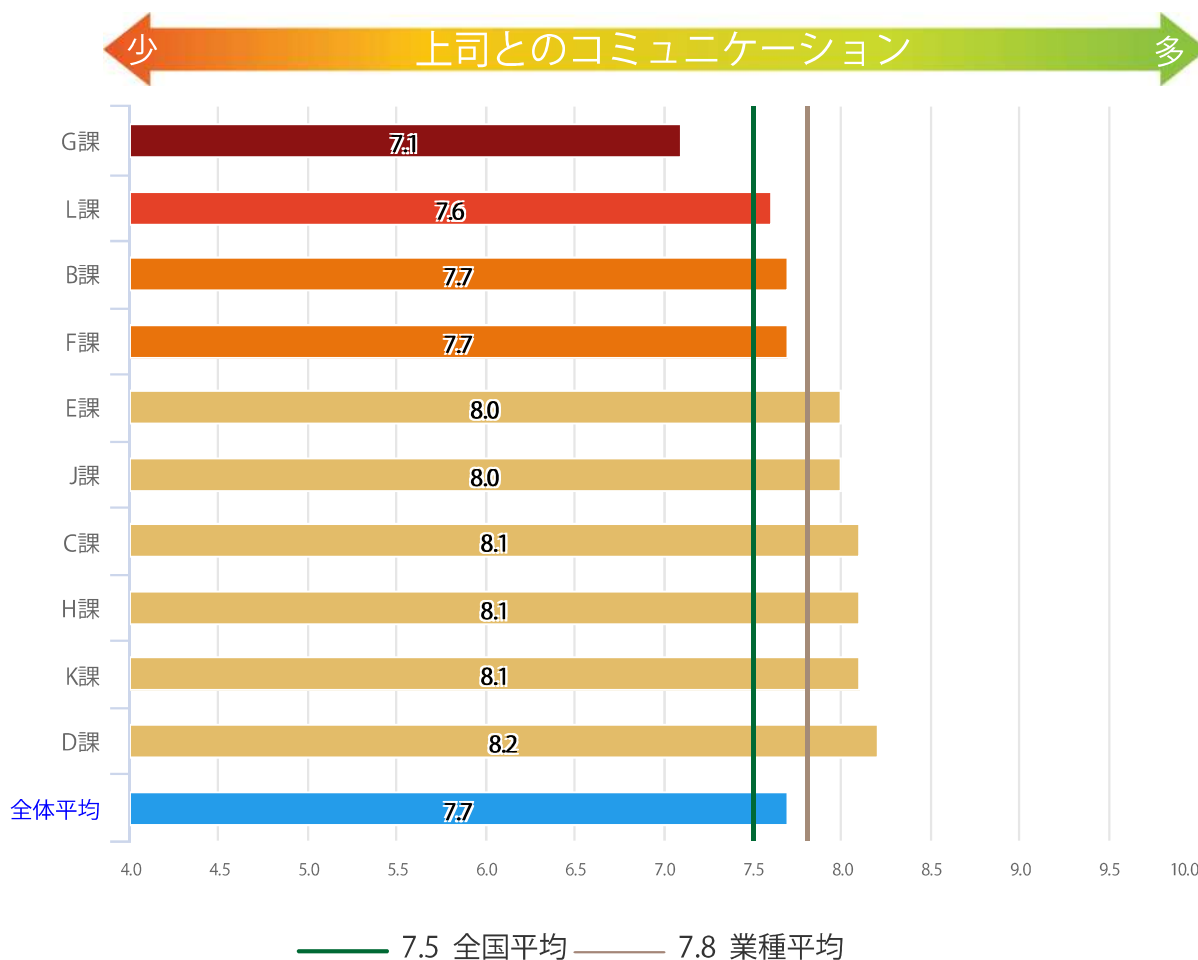
「上司とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

C-Q.1 どのくらい気軽に話ができますか

Q.4 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか

Q.7 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

### 3.1 上司とのコミュニケーション < 集団別・下位 >



### < 傾向分析 >

\*全体平均は7.7であり、全国平均7.5を上回っています。

\*全体平均は7.7であり、業種平均7.8を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

下位はG課、L課、B課などです。

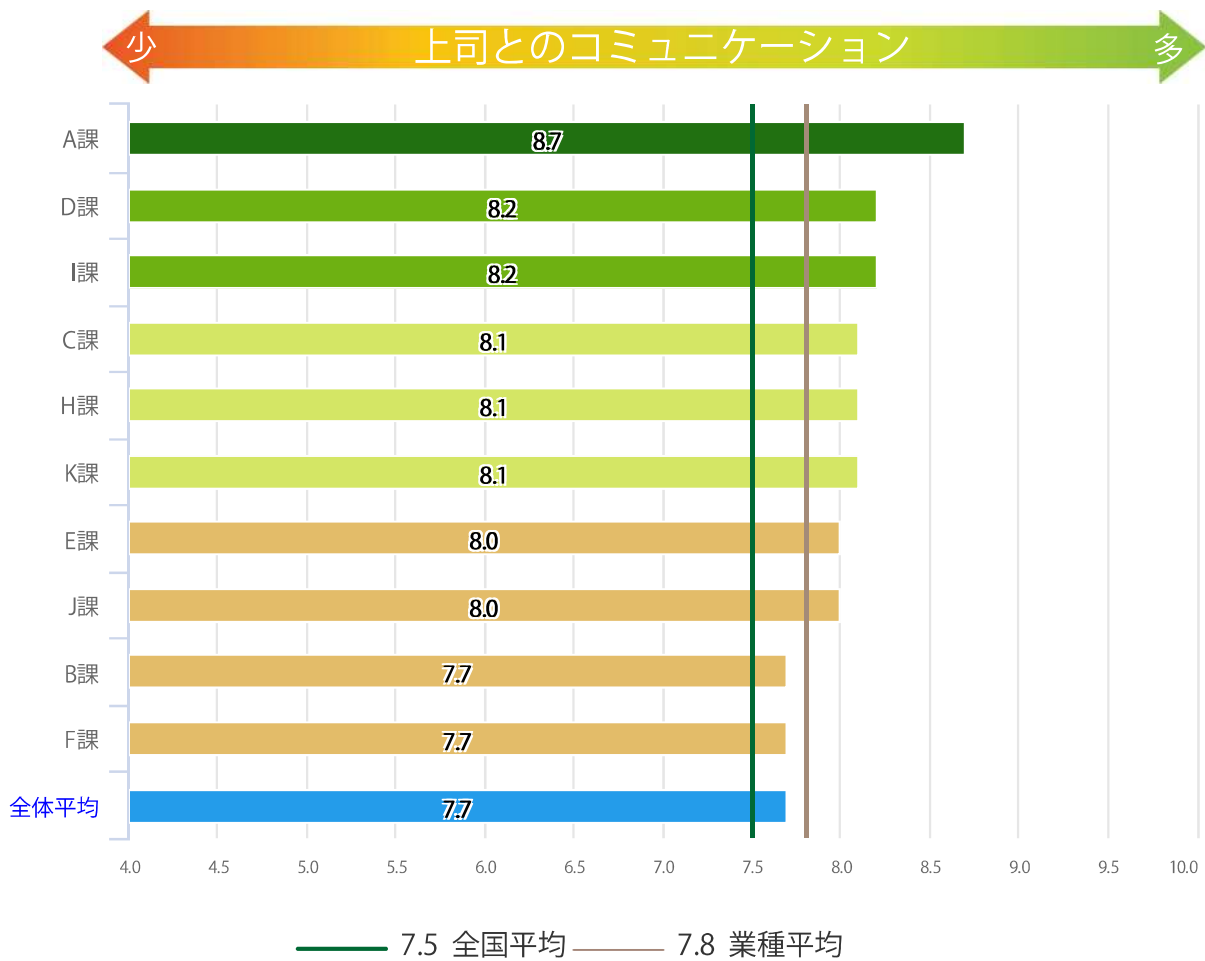
上記の集団は、上司とのコミュニケーションが少なく、集団に課題があるようです。

課題のある集団では、「上司との気軽な話し合い」「上司の頼りがい」「上司への相談」に関して、物足りなさや不満を感じている人が少なからずいるようです。

これらの課題を克服するために、コミュニケーションの方法や頻度を見直したり、課題解消ノウハウを全体で共有するなど、何らかの施策を講じる必要があるでしょう。



3.2 上司とのコミュニケーション < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

\*全体平均は7.7であり、全国平均7.5を上回っています。

\*全体平均は7.7であり、業種平均7.8を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

上位はA課、D課、I課などです。

上記の集団は、上司とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は比較的良好的ようです。

今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

## 【全体】ストレス要因

### 4.1 同僚とのコミュニケーション

集団別 <下位>

「同僚とのコミュニケーション」とは受検者が感じている同僚との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係性を示しています。

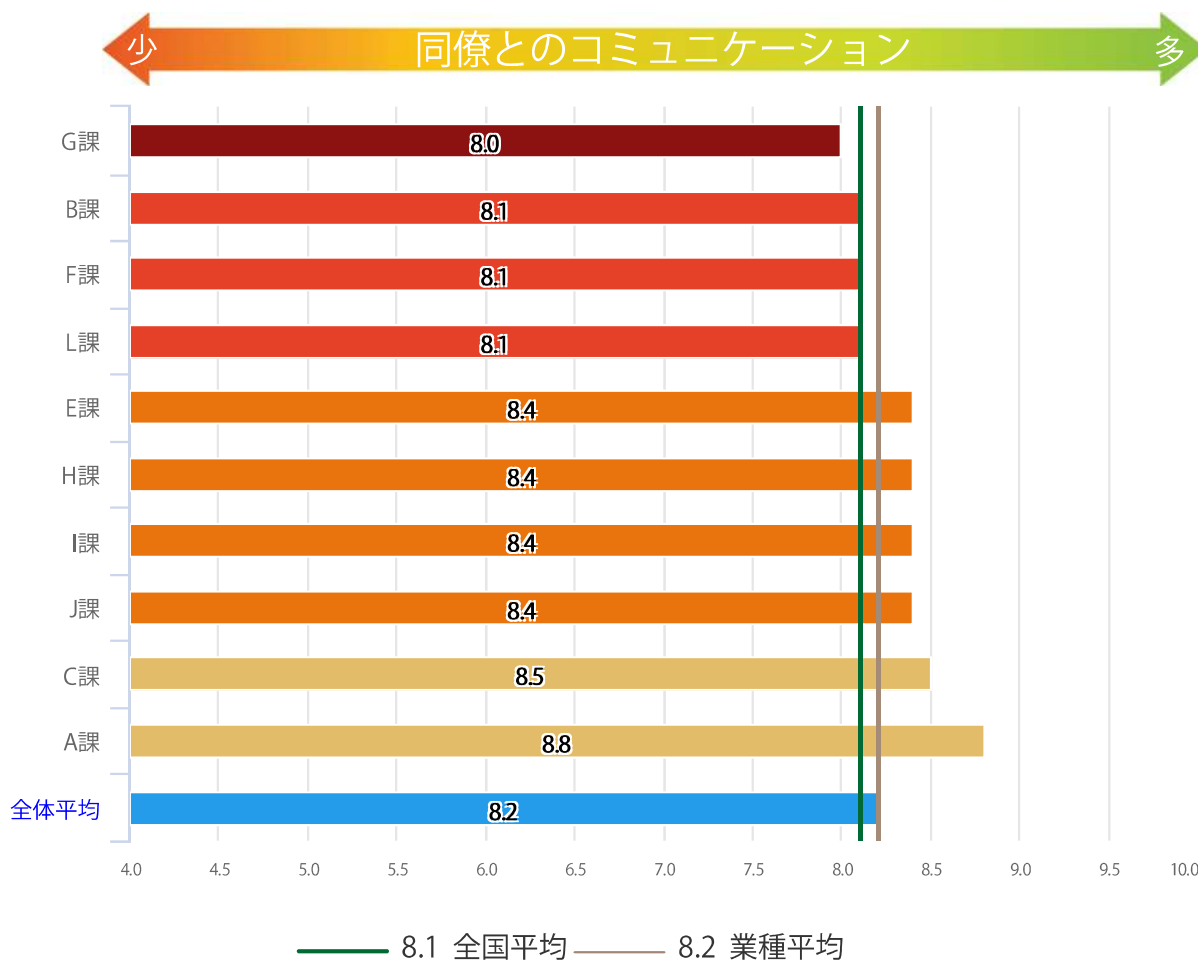
「同僚とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

C-Q2 どのくらい気軽に話ができますか

Q.5 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか

Q.8 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

#### 4.1 同僚とのコミュニケーション < 集団別・下位 >



#### < 傾向分析 >

\*全体平均は8.2であり、全国平均8.1を上回っています。

\*全体平均は8.2であり、業種平均8.2を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

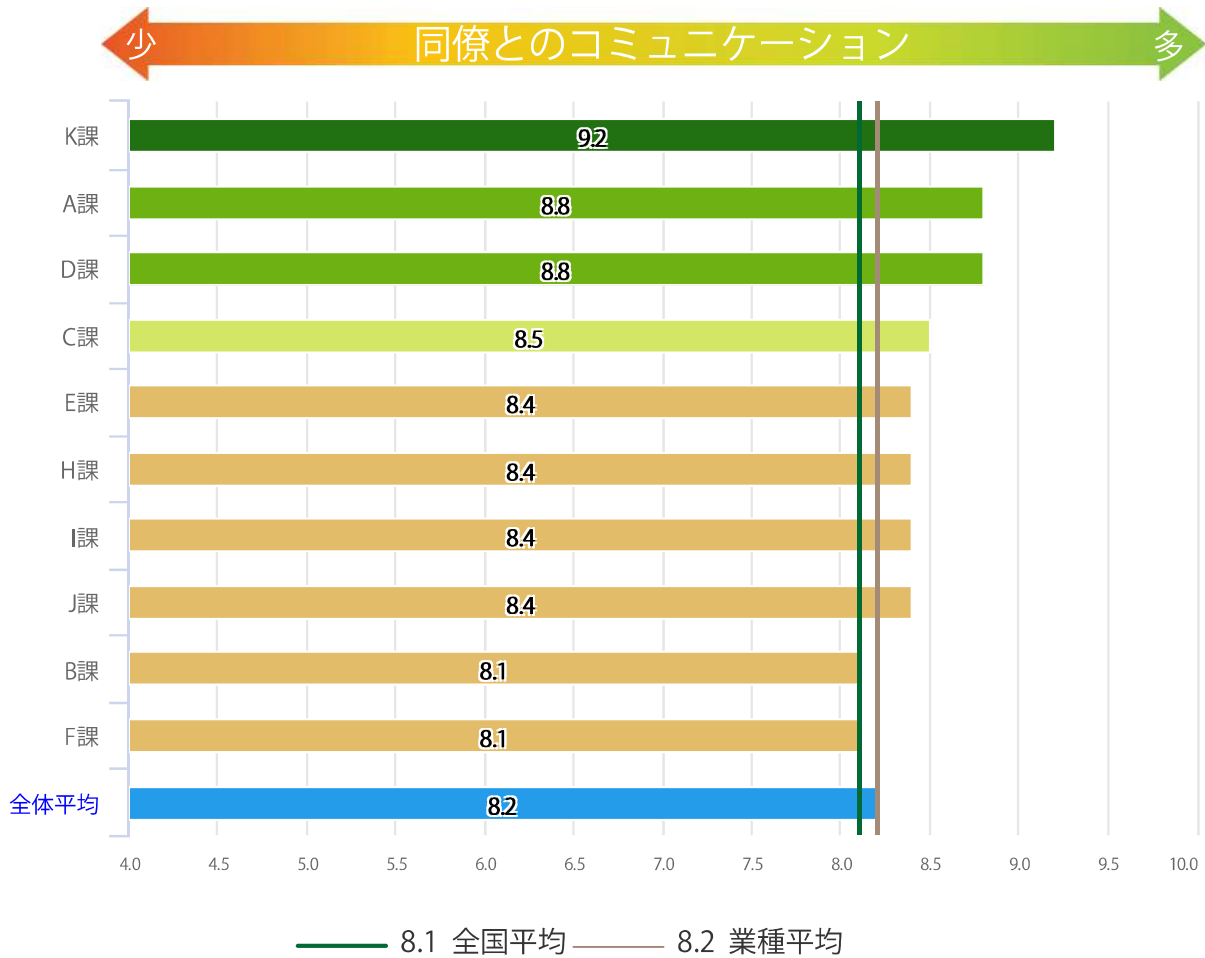
下位はG課、B課、F課などです。

上記の集団は、同僚とのコミュニケーションが少なく、集団に課題があるようです。

課題のある集団では、「同僚との気軽な話し合い」「同僚の頼りがい」「同僚への相談」に関して、物足りなさや不満を感じている人が少なからずいるようです。

これらの課題を克服するために、コミュニケーションの方法や頻度を見直したり、課題解消ノウハウを全体で共有するなど、何らかの施策を講じる必要があるでしょう。

4.2 同僚とのコミュニケーション < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

\*全体平均は8.2であり、全国平均8.1を上回っています。

\*全体平均は8.2であり、業種平均8.2を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

上位はK課、A課、D課などです。

上記の集団は、同僚とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は比較的良好的ようです。

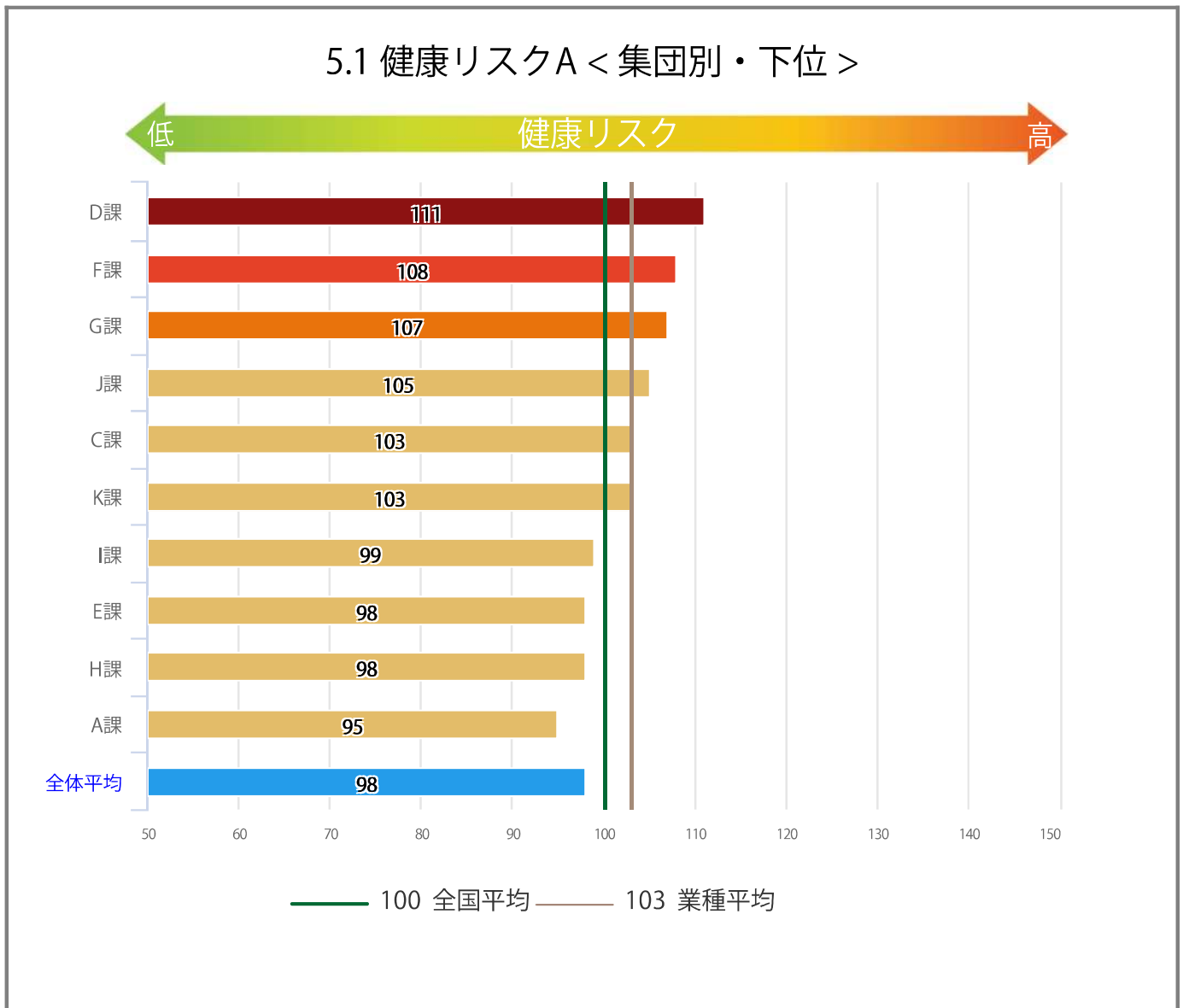
今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

## 【全体】健康リスク

### 5.1 健康リスクA

集団別 <下位>

健康リスクAは、ストレス要因である「仕事の負担」と「仕事のコントロール」とが健康に及ぼすリスクを表す数値です。標準集団の平均は「100」で、数値が高いほどリスクが高いことを示しています。



#### < 傾向分析 >

\* ストレス要因の「仕事の負担」と「仕事のコントロール」より算出した値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。

\* 全体平均は98であり、全国平均100を下回っています。

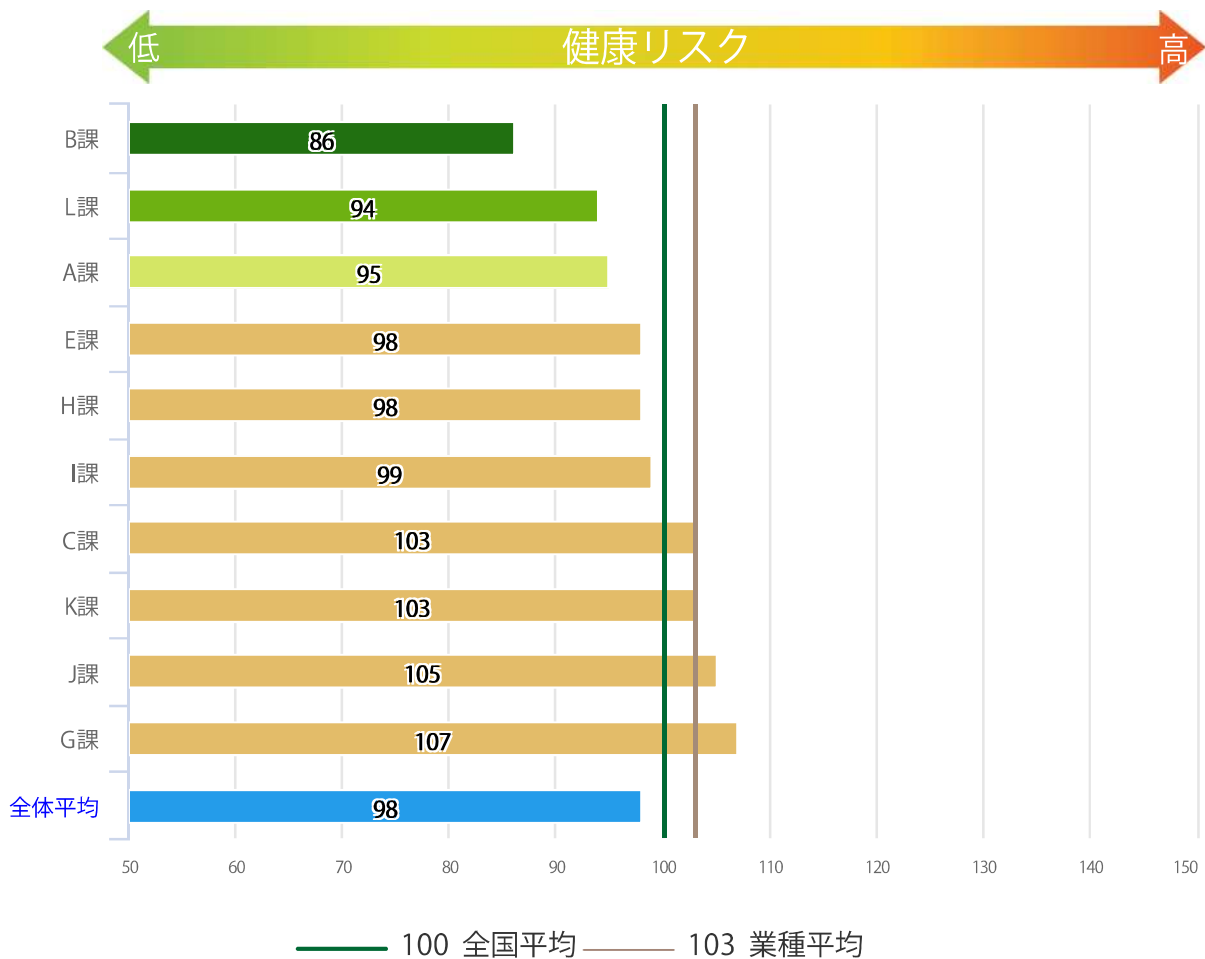
\* 全体平均は98であり、業種平均103を下回っています。

\* 集団ごとの状況を見ます。

下位はD課、F課、G課などです。

これらの集団は、「仕事の負担」と「仕事のコントロール」という2つのストレス要因の状況が比較的悪く、集団に課題があるといえます。

5.2 健康リスクA < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

\* ストレス要因の「仕事の負担」と「仕事のコントロール」より算出した値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。

\* 全体平均は98であり、全国平均100を下回っています。

\* 全体平均は98であり、業種平均103を下回っています。

\* 集団ごとの状況を見ます。

上位はB課、L課、A課などです。

これらの集団は、「仕事の負担」と「仕事のコントロール」という2つのストレス要因の状況が比較的良く、各自の健康リスクは高くないようです。

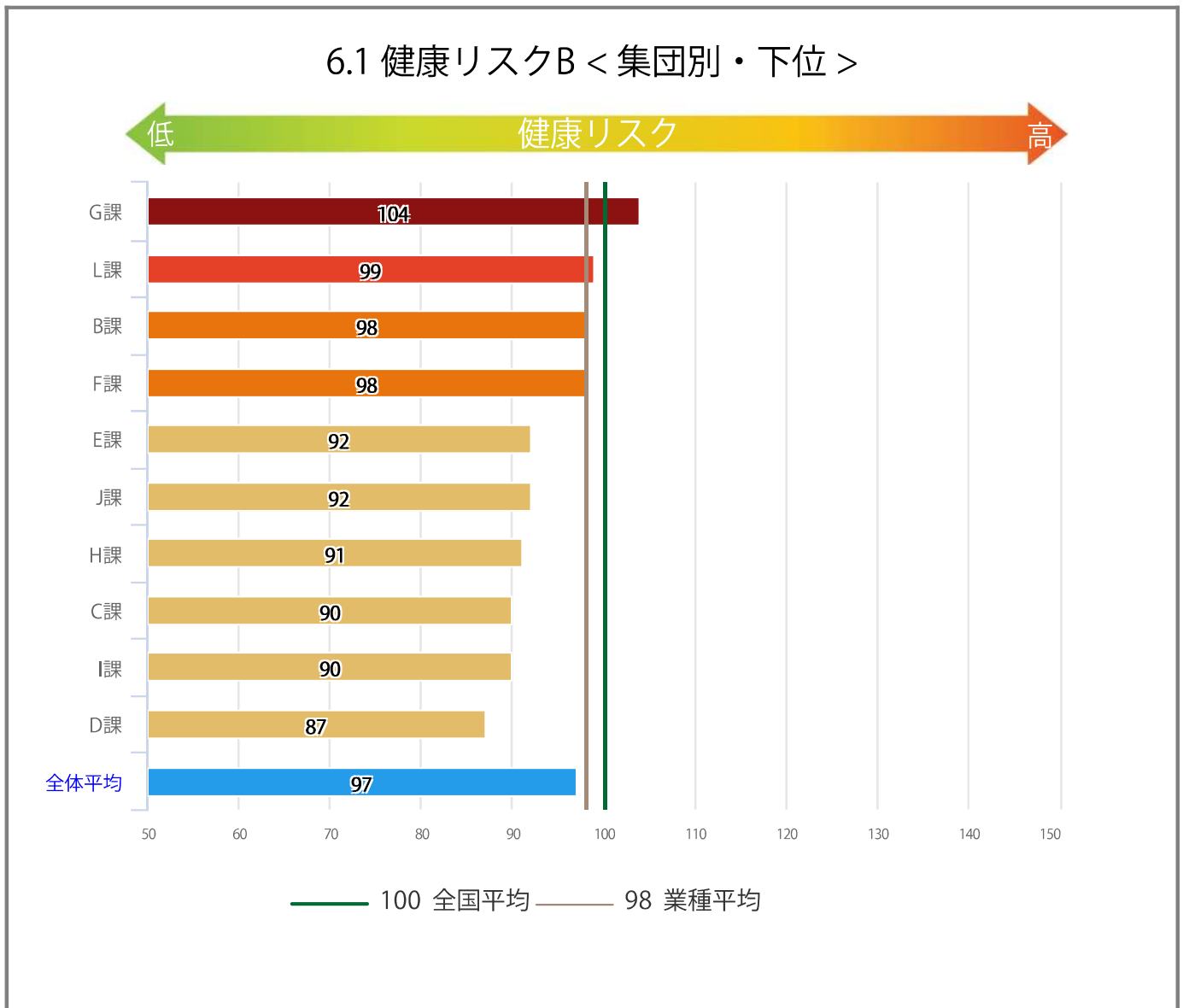
今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

## 【全体】健康リスク

### 6.1 健康リスクB

集団別 <下位>

健康リスクBは、ストレス要因である「上司とのコミュニケーション」と「同僚とのコミュニケーション」とが健康に及ぼすリスクを表す数値です。標準集団の平均は「100」で、数値が高いほどリスクが高いことを示しています。



#### < 傾向分析 >

\* ストレス要因の「上司とのコミュニケーション」と「同僚とのコミュニケーション」より算出した値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。

\* 全体平均は97であり、全国平均100を下回っています。

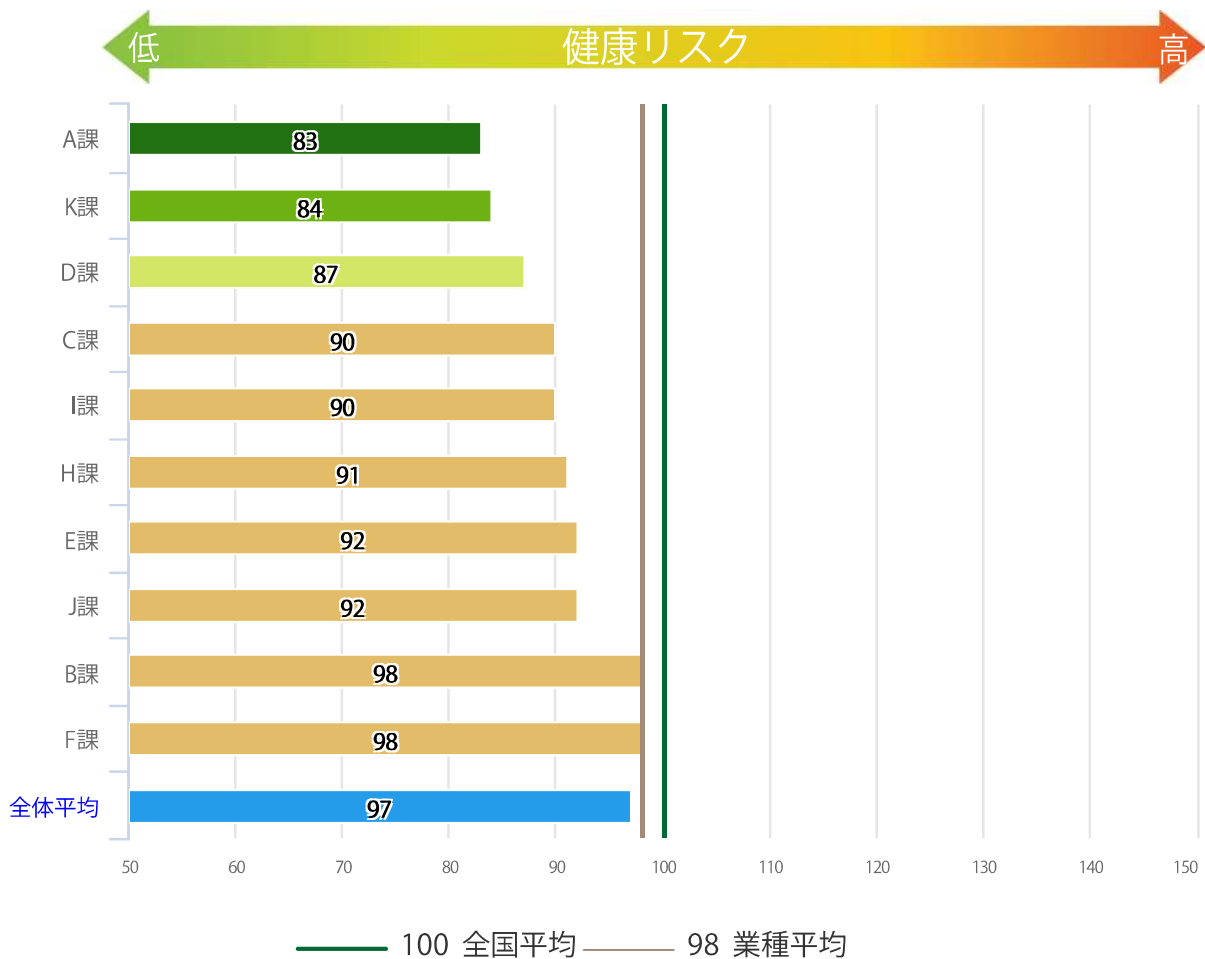
\* 全体平均は97であり、業種平均98を下回っています。

\* 集団ごとの状況を見ます。

下位はG課、L課、B課などです。

これらの集団は、「上司とのコミュニケーション」と「同僚とのコミュニケーション」という2つのストレス要因の状況が比較的悪く、集団に課題があるといえます。

6.2 健康リスクB < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

\*ストレス要因の「上司とのコミュニケーション」と「同僚とのコミュニケーション」より算出した値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。

\*全体平均は97であり、全国平均100を下回っています。

\*全体平均は97であり、業種平均98を下回っています。

\*集団ごとの状況を見ます。

上位はA課、K課、D課などです。

これらの集団は、「上司とのコミュニケーション」と「同僚とのコミュニケーション」という2つのストレス要因の状況が比較的良く、各自の健康リスクは高くないようです。

今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

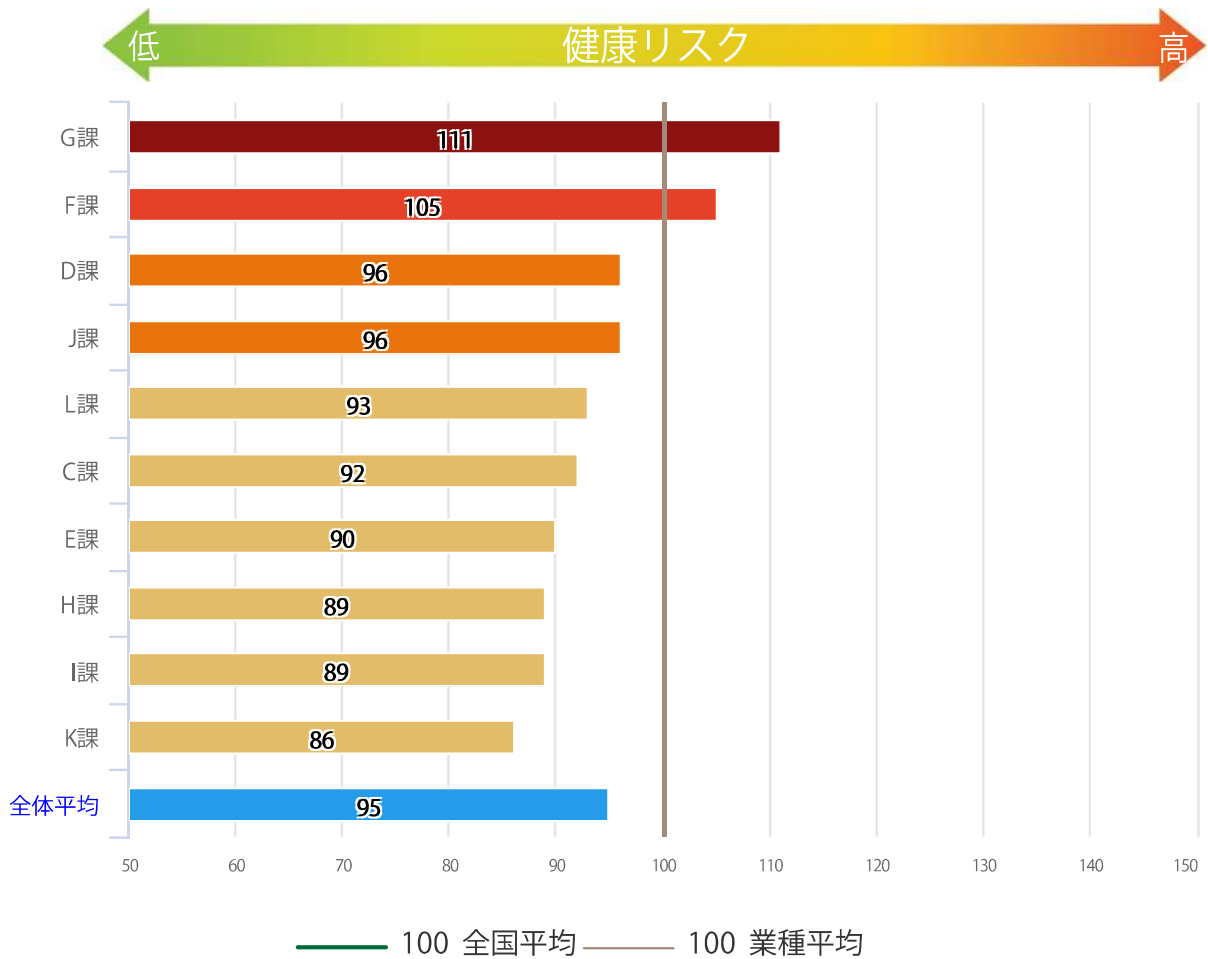
## 【全体】健康リスク

### 7.1 健康リスク 総合判定

集団別 < 下位 >

健康リスクは、健康リスクAと健康リスクBを  
かけ合わせて100で割った数値です。標準集団  
の平均は「100」で、数値が高いほどリスクが  
高いことを示しています。

#### 7.1 健康リスク 総合判定 < 集団別・下位 >



#### < 傾向分析 >

\*健康リスクAと健康リスクBをかけ合わせて100で割った値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。

\*全体平均は95であり、全国平均100を下回っています。

\*全体平均は95であり、業種平均100を下回っています。

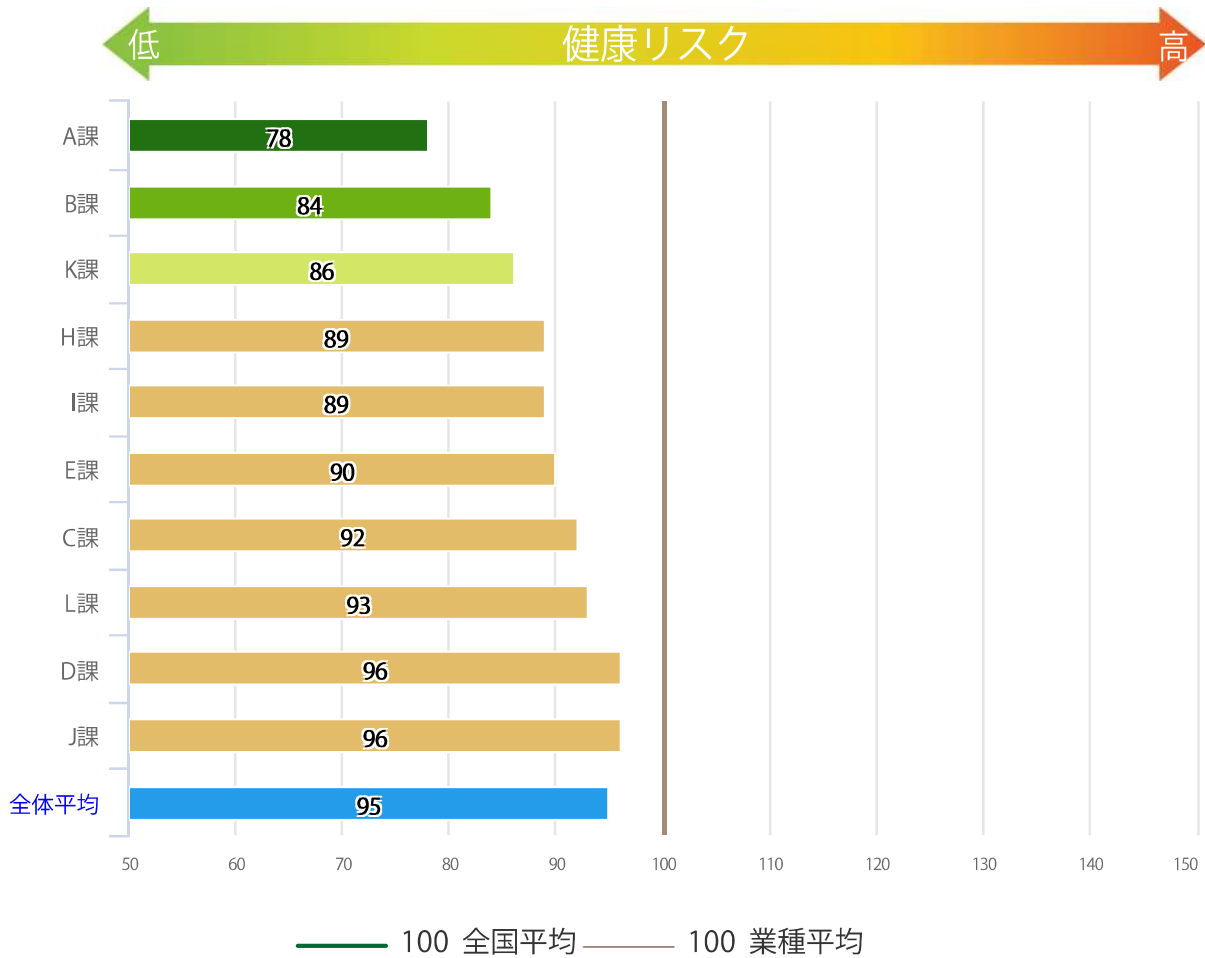
\*集団ごとの状況を見ます。

下位はG課、F課、D課などです。

これらの集団は、比較的ストレス状況が悪く、集団に課題があるといえます。



7.2 健康リスク 総合判定 < 集団別・上位 >



< 傾向分析 >

- \*健康リスクAと健康リスクBをかけ合わせて100で割った値。数値が高いほど「健康リスク」が高い。100が平均値。
  - \*全体平均は95であり、全国平均100を下回っています。
  - \*全体平均は95であり、業種平均100を下回っています。
  - \*集団ごとの状況を見ます。  
上位はA課、B課、K課などです。
- これらの集団は、比較的ストレス状況が良く、各自の健康リスクは高くないようです。  
今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

# 【A課】 受検情報

## 受検者情報

| 対象受検者数 | 有効受検者数 |      | 未受検者数 |    |
|--------|--------|------|-------|----|
| 16名    | 16名    | 100% | 0名    | 0% |

## 集団分析結果一覧

| 実施年月日    | 尺度ごとの平均点 |           |               |               | 健康リスク          |                    | 総合判定   |
|----------|----------|-----------|---------------|---------------|----------------|--------------------|--|
|          | 仕事の負担    | 仕事のコントロール | 上司とのコミュニケーション | 同僚とのコミュニケーション | 仕事の負担 & コントロール | 上司 & 同僚とのコミュニケーション |  |
| 2018年05月 | 6.8      | 6.8       | 8.7           | 8.8           | 95             | 83                 | 78  |

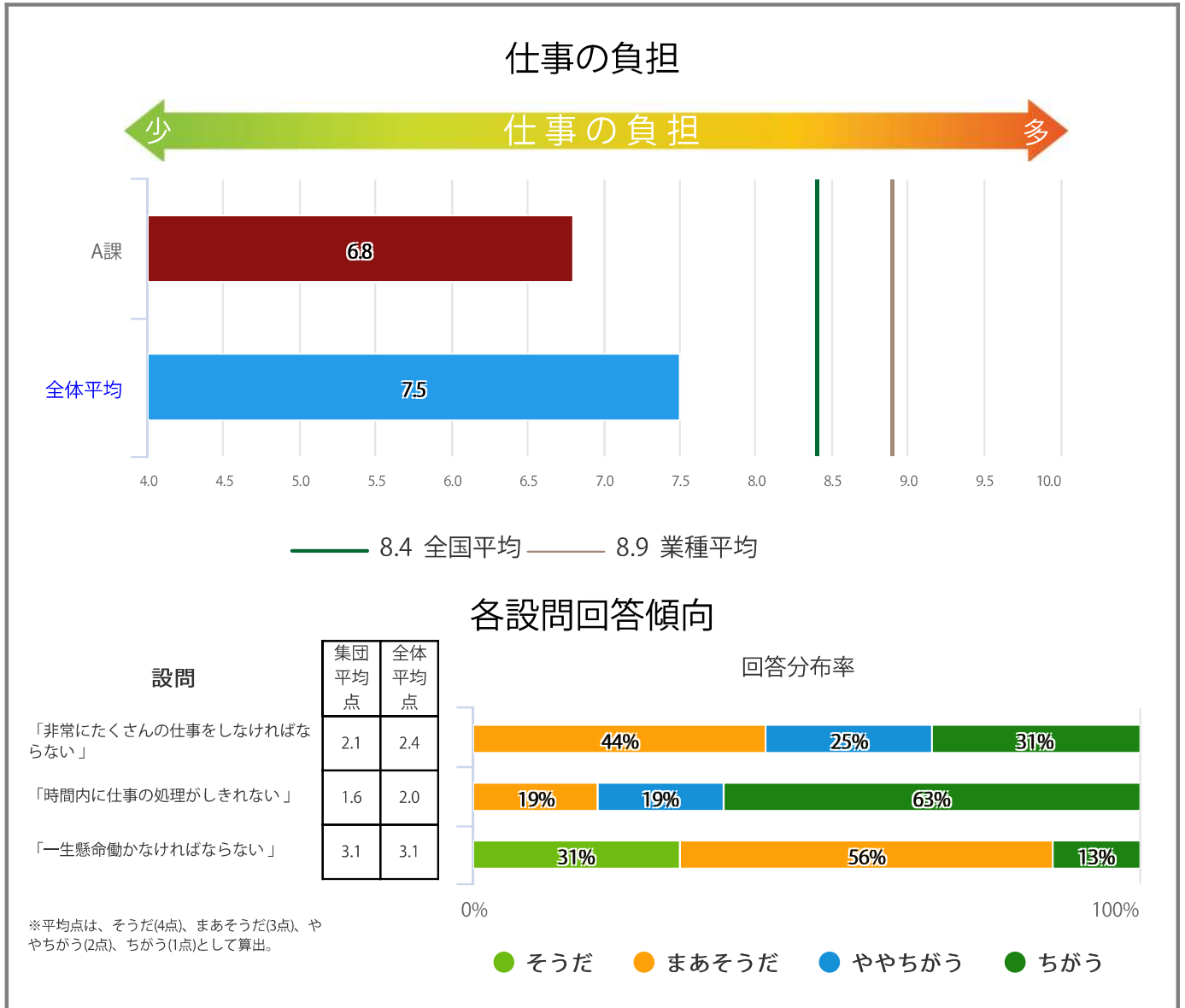
# 【A課】ストレス要因

## 1.1 仕事の負担

「仕事の負担」とは受検者が感じている業務量、負荷・責任、困難さを表す数値です。数値が大きいほど、負担が多いことを示しています。

「仕事の負担」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- A-Q.1 非常にたくさんの仕事をしなければならない
- Q.2 時間内に仕事が処理しきれない
- Q.3 一生懸命働かなければならない



### < 傾向分析 >

- \* A課は6.8であり、全国平均8.4を下回っています。
- \* A課は、仕事の負担が少なく、各自のストレス状況は良好のようです。
- \* 各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「Q1.非常にたくさんの仕事をしなければならない」は、全体平均より低い
  - 「Q2.時間内に仕事が処理しきれない」は、全体平均より低い
  - 「Q3.一生懸命働かなければならない」は、全体平均程度

## 【A課】ストレス要因

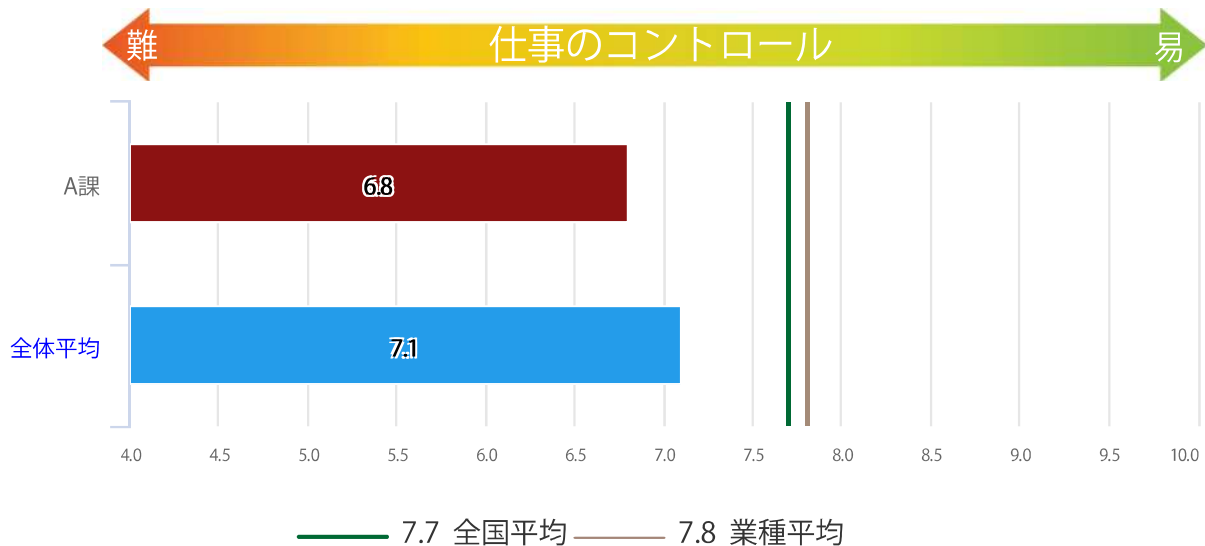
### 1.2 仕事のコントロール

「仕事のコントロール」とは受検者が感じている仕事の自由度、裁量の状態、意見や考えを反映できるかの程度を表しています。数値が高いほど、働きやすい状態を示しています。

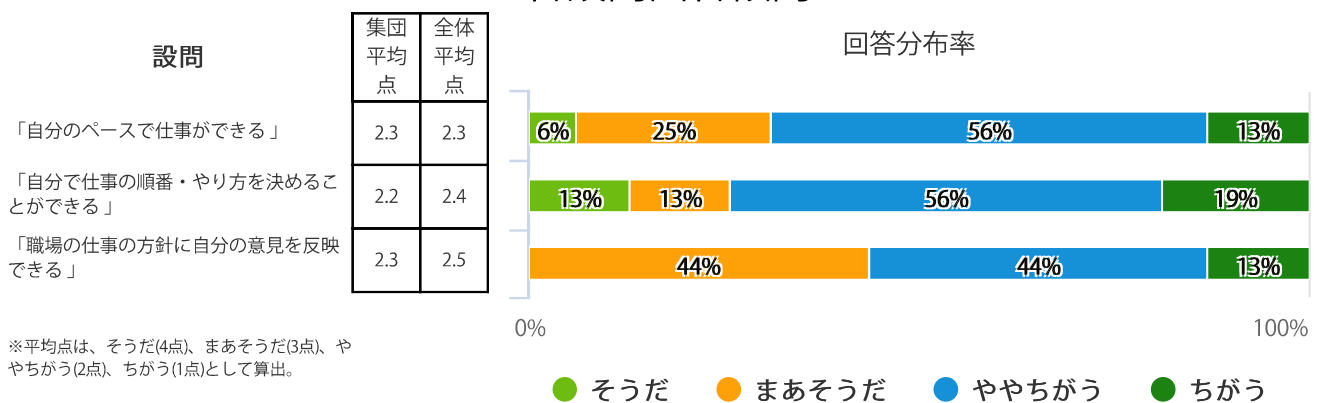
「仕事のコントロール」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- A-Q.8 自分のペースで仕事ができる
- Q.9 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる
- Q.10 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

#### 仕事のコントロール



#### 各設問回答傾向



※平均点は、そうだ(4点)、まあそうだ(3点)、ややちがう(2点)、ちがう(1点)として算出。

#### < 傾向分析 >

- \*A課は6.8であり、全国平均7.7を下回っています。
- \*A課は、仕事のコントロールが難しく、課題といえるでしょう。
- \*各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「Q8.自分のペースで仕事ができる」は、全体平均程度
  - 「Q9.自分で仕事の順番・やり方を決めることができる」は、全体平均より低い
  - 「Q10.職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる」は、全体平均より低い

## 【A課】 ストレス要因

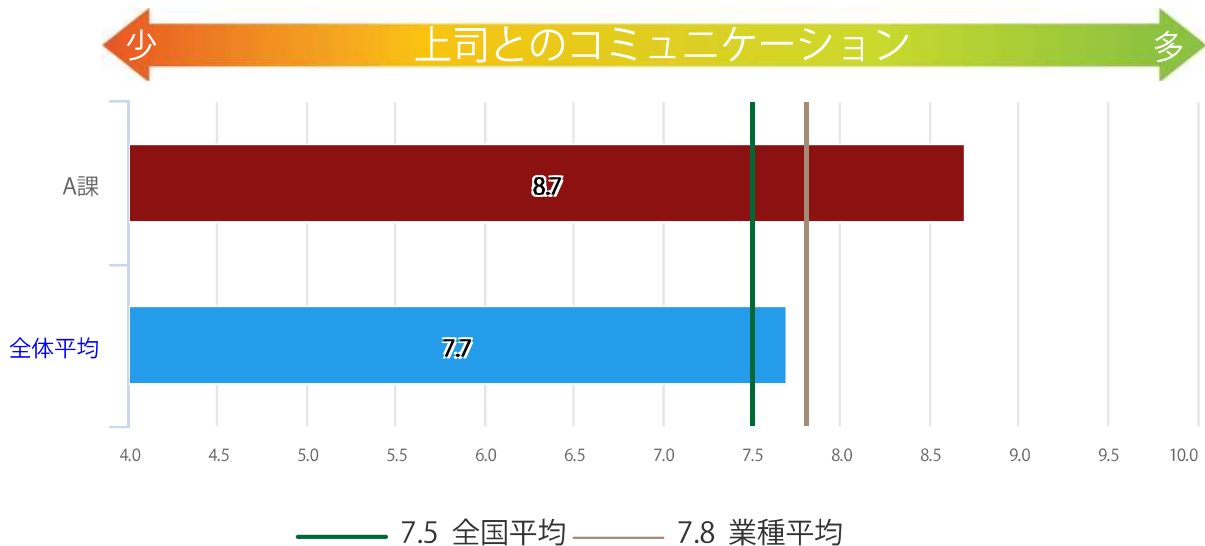
### 1.3 上司とのコミュニケーション

「上司とのコミュニケーション」とは受検者が感じている上司との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係を示しています。

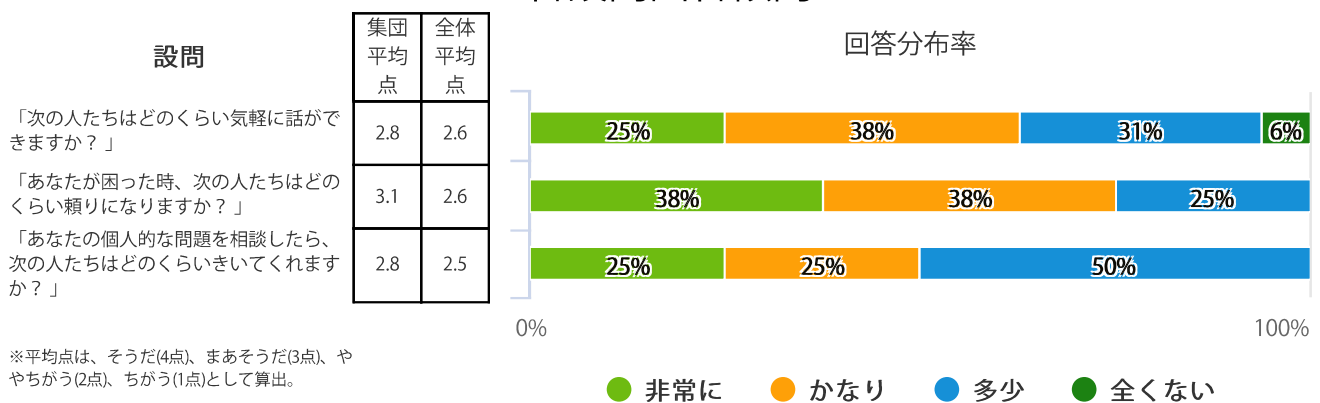
「上司とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- C-Q.1 どのくらい気軽に話ができますか
- Q.4 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか
- Q.7 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

#### 上司とのコミュニケーション



#### 各設問回答傾向



#### < 傾向分析 >

- \*A課は8.7であり、全国平均7.5を上回っています。
- \*A課は、上司とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は良好のようです。
- \*各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「上司はどのくらい気軽に話ができますか？」は、全体平均より高い
  - 「あなたが困った時、上司はどのくらい頼りになりますか？」は、全体平均より高い
  - 「あなたの個人的な問題を相談したら、上司はどのくらい聞いてくれますか？」は、全体平均より高い

## 【A課】 ストレス要因

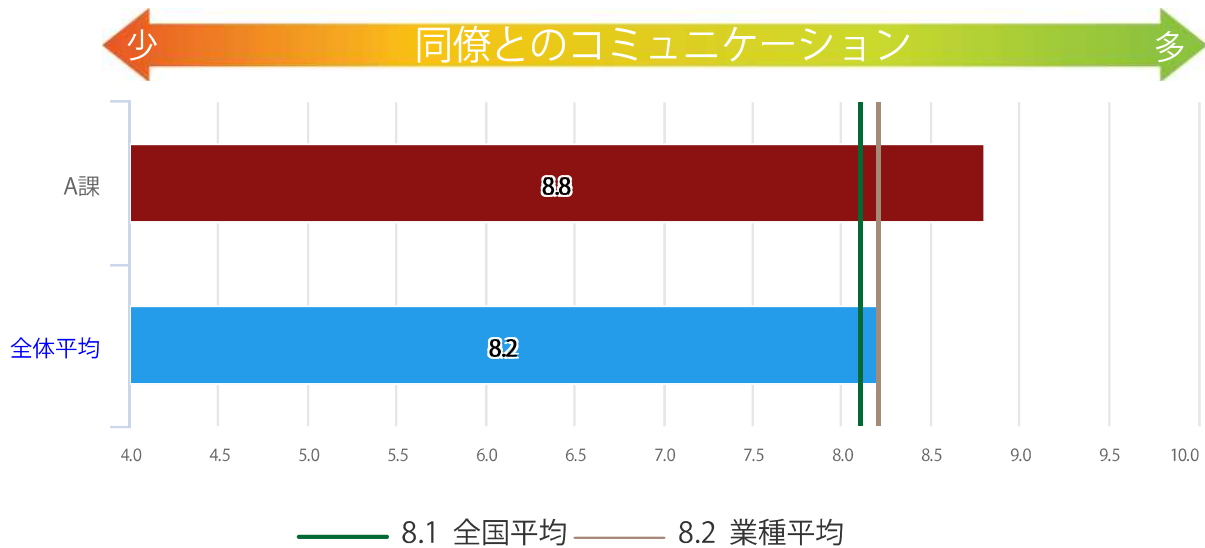
### 1.4 同僚とのコミュニケーション

「同僚とのコミュニケーション」とは受検者が感じている同僚との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係を示しています。

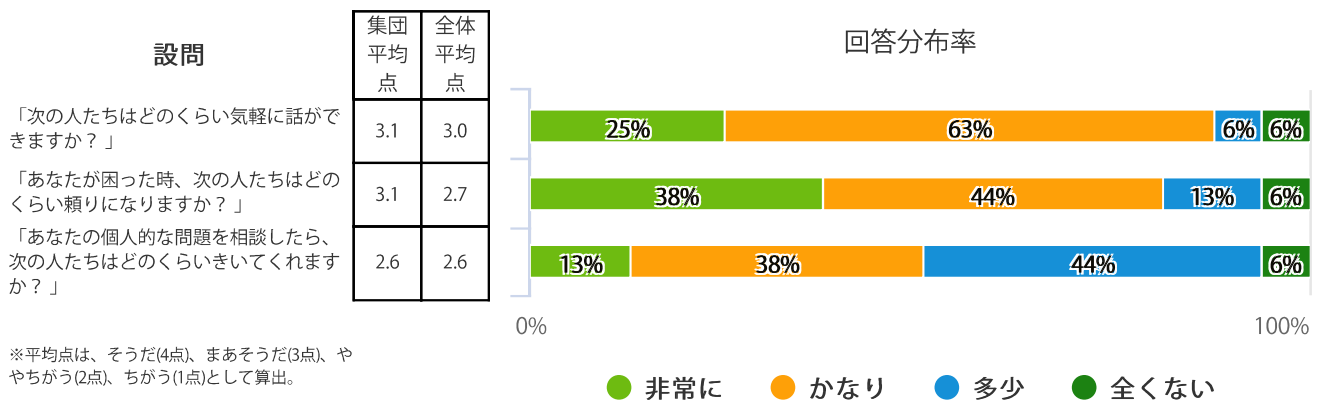
「同僚とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- C-Q.2 どのくらい気軽に話ができますか
- Q.5 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか
- Q.8 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

#### 同僚とのコミュニケーション



#### 各設問回答傾向



#### < 傾向分析 >

\*A課は8.8であり、全国平均8.1を上回っています。

\*A課は、同僚とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は良好のようです。

\*各自の回答を集計すると、次のような傾向です。

「同僚はどのくらい気軽に話ができますか？」は、全体平均より高い

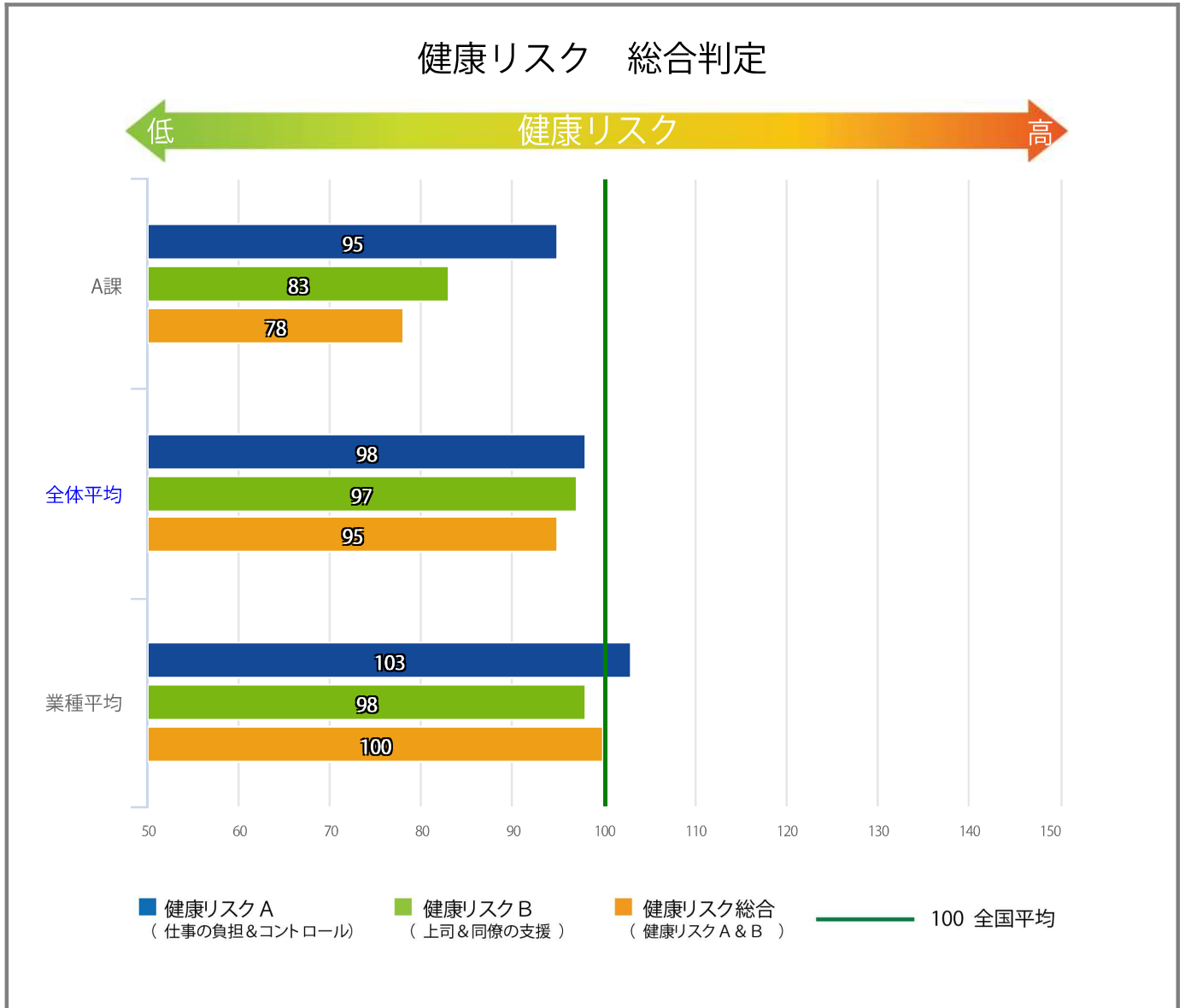
「あなたが困った時、同僚はどのくらい頼りになりますか？」は、全体平均より高い

「あなたの個人的な問題を相談したら、同僚はどのくらい聞いてくれますか？」は、全体平均程度

## 【A課】健康リスク

# 1.5 健康リスク 総合判定

健康リスクは、健康リスクAと健康リスクBを  
かけ合わせて100で割った数値です。標準集団  
の平均は「100」で、数値が高いほどリスクが  
高いことを示しています。



### < 傾向分析 >


- \*健康リスクAは、全体平均98、全国平均100に対して、A課は95です。
- \*健康リスクBは、全体平均97、全国平均100、業種平均98に対して、A課は83です。
- \*健康リスク 総合は、全体平均95、全国平均100、業種平均100に対して、A課は78です。
- \*以上より、A課は比較的ストレス状況が良く、各自の健康リスクは高くないようです。今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。

# 【B課】 受検情報

## 受検者情報

| 対象受検者数 | 有効受検者数 |      | 未受検者数 |    |
|--------|--------|------|-------|----|
| 27名    | 27名    | 100% | 0名    | 0% |

## 集団分析結果一覧

| 実施年月日    | 尺度ごとの平均点 |           |               |               | 健康リスク          |                    | 総合判定   |
|----------|----------|-----------|---------------|---------------|----------------|--------------------|--|
|          | 仕事の負担    | 仕事のコントロール | 上司とのコミュニケーション | 同僚とのコミュニケーション | 仕事の負担 & コントロール | 上司 & 同僚とのコミュニケーション |  |
| 2018年05月 | 6.5      | 7.6       | 7.7           | 8.1           | 86             | 98                 | 84  |



## 【B課】ストレス要因

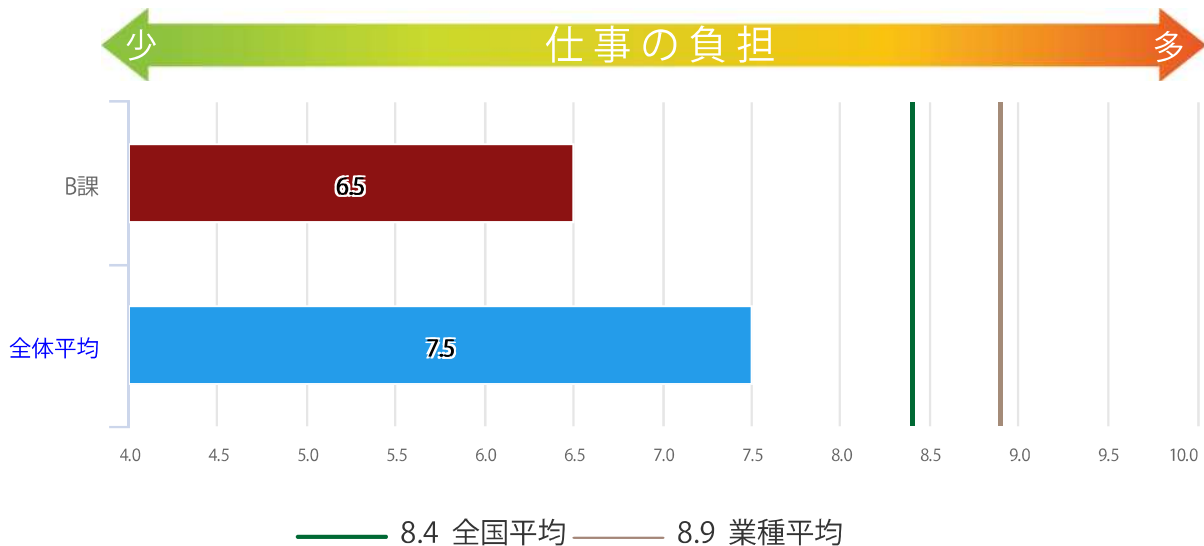
### 2.1 仕事の負担

「仕事の負担」とは受検者が感じている業務量、負荷・責任、困難さを表す数値です。数値が大きいほど、負担が多いことを示しています。

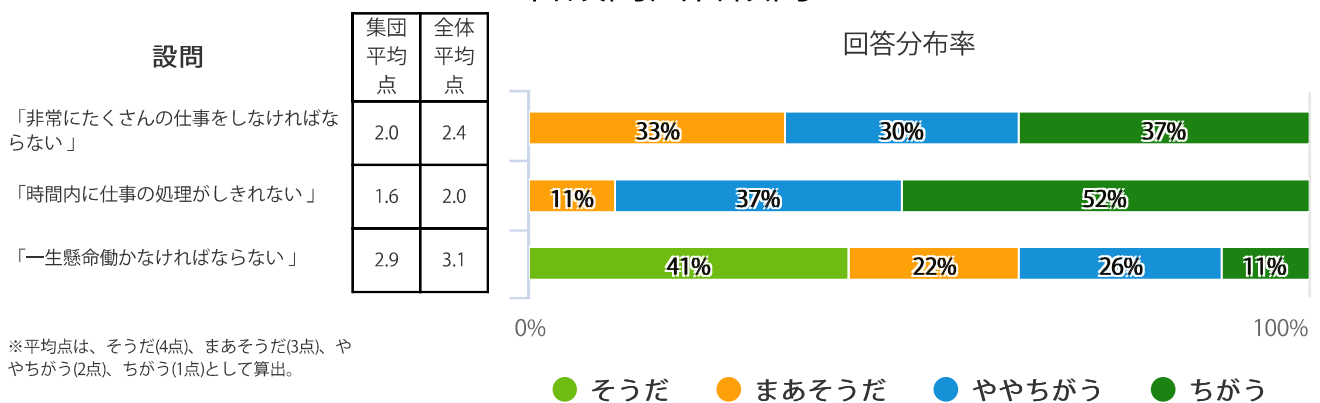
「仕事の負担」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- A-Q.1 非常にたくさんの仕事をしなければならない
- Q.2 時間内に仕事が処理しきれない
- Q.3 一生懸命働かなければならない

#### 仕事の負担



#### 各設問回答傾向



#### < 傾向分析 >

- \* B課は6.5であり、全国平均8.4を下回っています。
- \* B課は、仕事の負担が少なく、各自のストレス状況は良好のようです。
- \* 各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「Q1.非常にたくさんの仕事をしなければならない」は、全体平均より低い
  - 「Q2.時間内に仕事が処理しきれない」は、全体平均より低い
  - 「Q3.一生懸命働かなければならない」は、全体平均より低い

## 【B課】ストレス要因

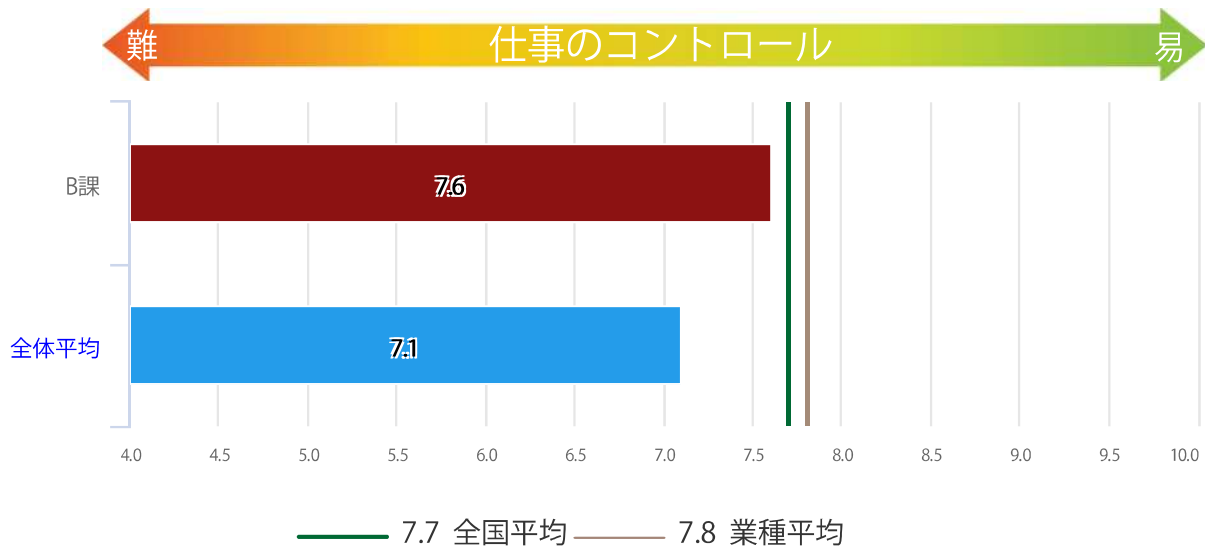
### 2.2 仕事のコントロール

「仕事のコントロール」とは受検者が感じている仕事の自由度、裁量の状態、意見や考えを反映できるかの程度を表しています。数値が高いほど、働きやすい状態を示しています。

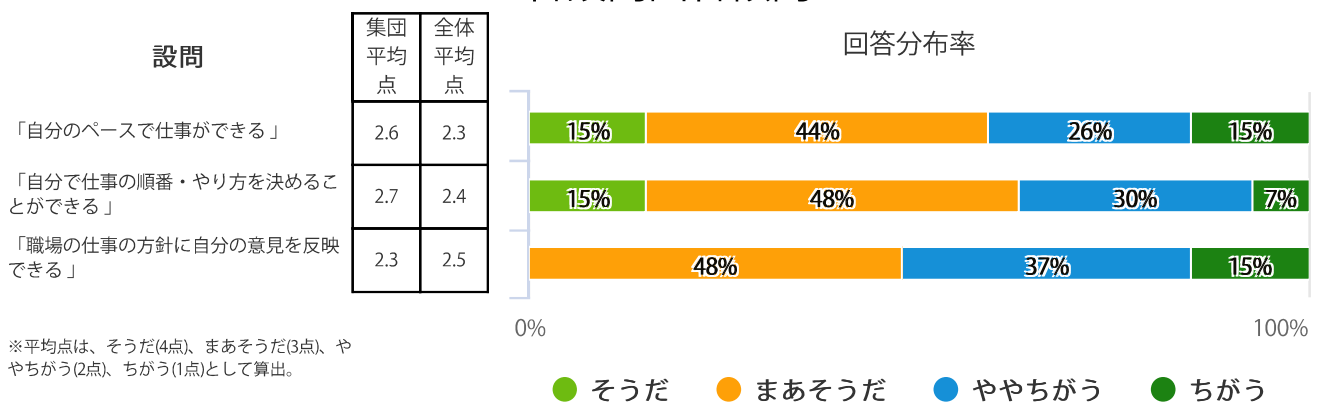
「仕事のコントロール」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- A-Q.8 自分のペースで仕事ができる
- Q.9 自分で仕事の順番・やり方を決めることができる
- Q.10 職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる

#### 仕事のコントロール



#### 各設問回答傾向



※平均点は、そうだ(4点)、まあそうだ(3点)、ややちがう(2点)、ちがう(1点)として算出。

#### < 傾向分析 >

- \* B課は7.6であり、全国平均7.7を下回っています。
- \* B課は、仕事のコントロールが難しく、課題といえるでしょう。
- \* 各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「Q8.自分のペースで仕事ができる」は、全体平均より高い
  - 「Q9.自分で仕事の順番・やり方を決めることができる」は、全体平均より高い
  - 「Q10.職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる」は、全体平均より低い

## 【B課】ストレス要因

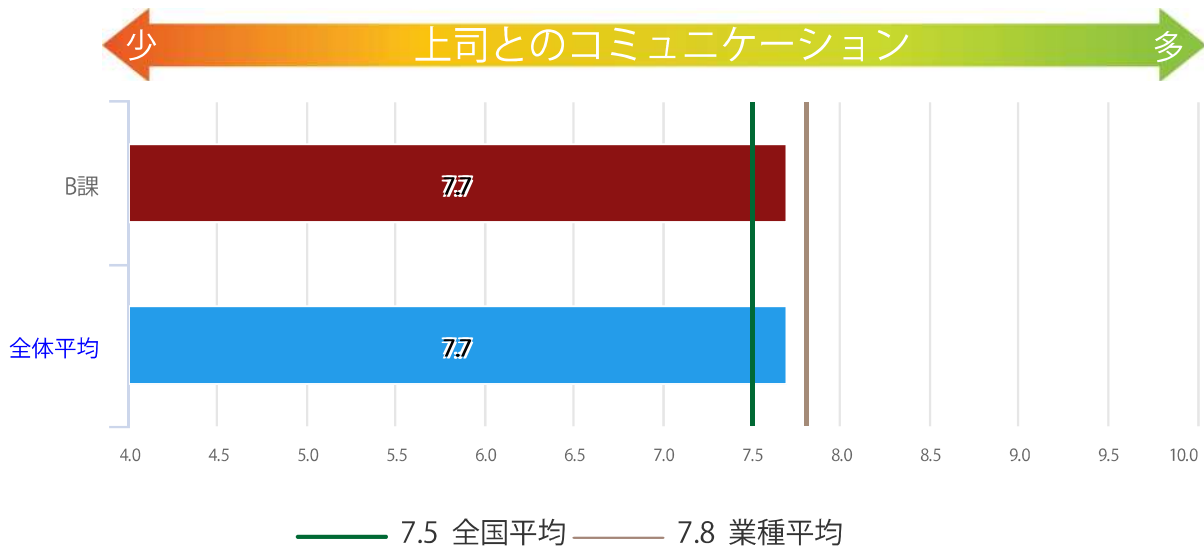
### 2.3 上司とのコミュニケーション

「上司とのコミュニケーション」とは受検者が感じている上司との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係を示しています。

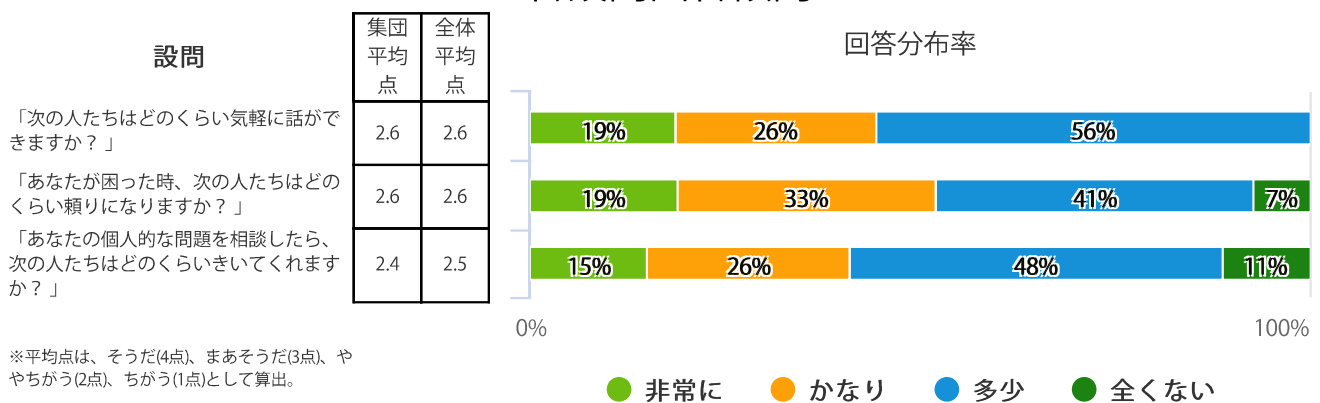
「上司とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

- C-Q.1 どのくらい気軽に話ができますか
- Q.4 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか
- Q.7 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

#### 上司とのコミュニケーション



#### 各設問回答傾向



#### < 傾向分析 >

- \*B課は7.7であり、全国平均7.5を上回っています。
- \*B課は、上司とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は良好のようです。
- \*各自の回答を集計すると、次のような傾向です。
  - 「上司はどのくらい気軽に話ができますか？」は、全体平均程度
  - 「あなたが困った時、上司はどのくらい頼りになりますか？」は、全体平均程度
  - 「あなたの個人的な問題を相談したら、上司はどのくらい聞いてくれますか？」は、全体平均より低い

## 【B課】ストレス要因

### 2.4 同僚とのコミュニケーション

「同僚とのコミュニケーション」とは受検者が感じている同僚との関係性やサポートの状態を表しています。数値が高いほど、良好な関係を示しています。

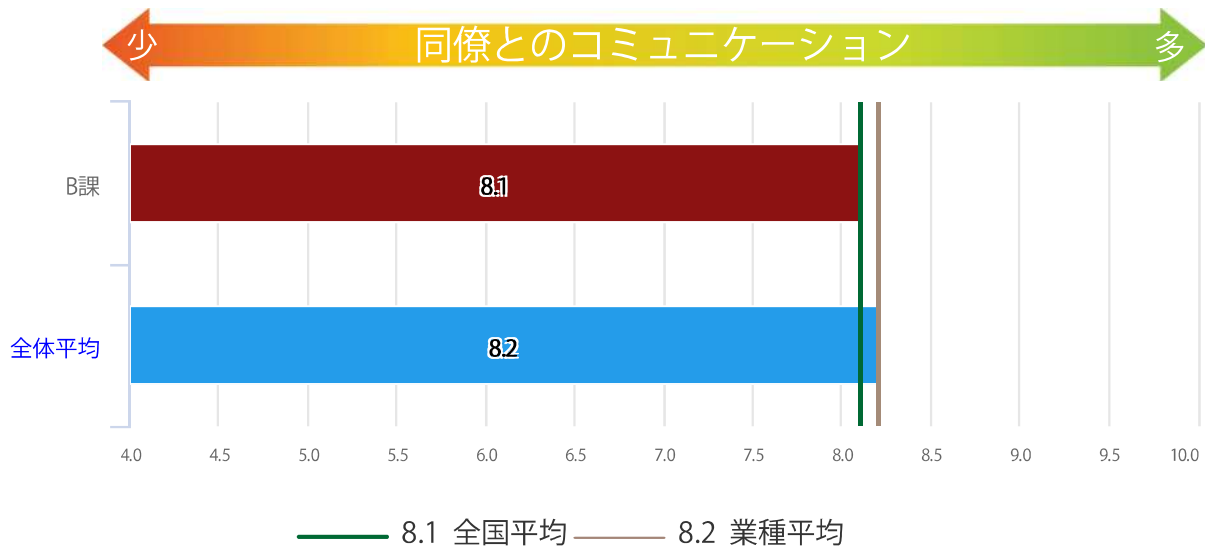
「同僚とのコミュニケーション」は、職業性ストレス簡易調査票の以下3つの質問の回答結果から算出しています。

C-Q.2 どのくらい気軽に話ができますか

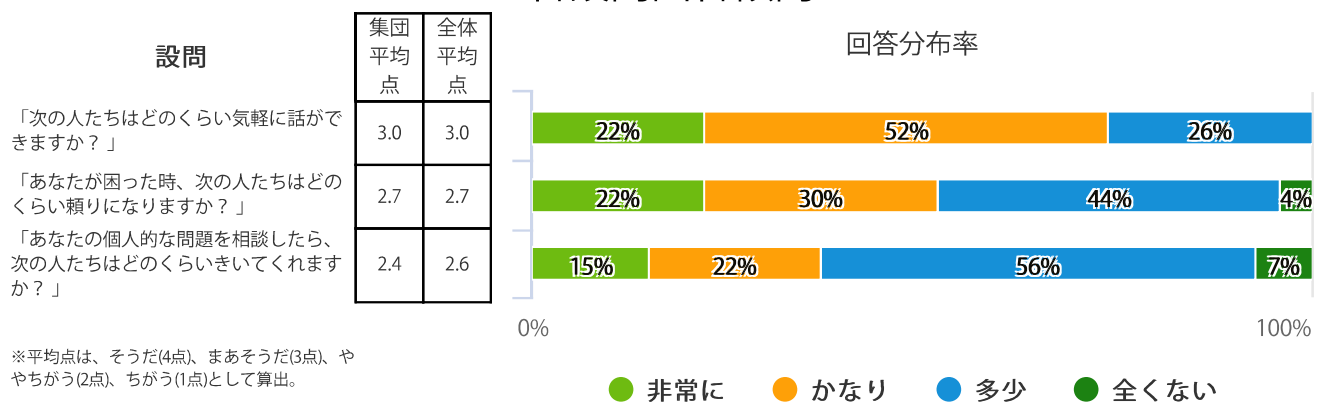
Q.5 あなたが困ったとき、どのくらい頼りになりますか

Q.8 貴方が個人的な問題を相談したら、どのくらい聞いてくれますか

#### 同僚とのコミュニケーション



#### 各設問回答傾向



#### < 傾向分析 >

\*B課は8.1であり、全国平均8.1と同値です。

\*B課は、同僚とのコミュニケーションが多く、各自のストレス状況は良好のようです。

\*各自の回答を集計すると、次のような傾向です。

「同僚はどのくらい気軽に話ができますか？」は、全体平均程度

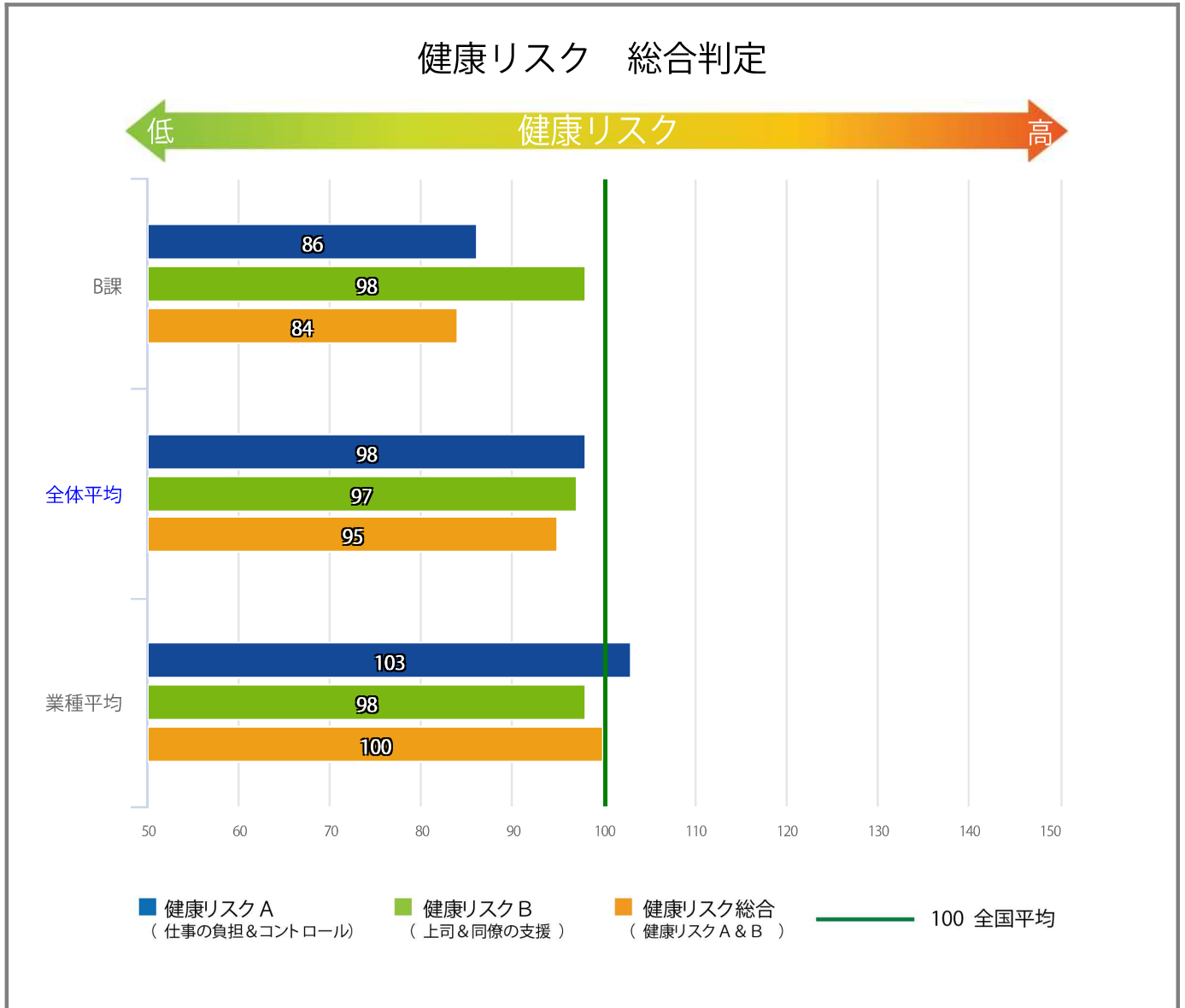
「あなたが困った時、同僚はどのくらい頼りになりますか？」は、全体平均程度

「あなたの個人的な問題を相談したら、同僚はどのくらい聞いてくれますか？」は、全体平均より低い

## 【B課】健康リスク

# 2.5 健康リスク 総合判定

健康リスクは、健康リスクAと健康リスクBを  
かけ合わせて100で割った数値です。標準集団  
の平均は「100」で、数値が高いほどリスクが  
高いことを示しています。



### < 傾向分析 >

- \* 健康リスクAは、全体平均98、全国平均100に対して、B課は86です。
- \* 健康リスクBは、全体平均97、全国平均100、業種平均98に対して、B課は98です。
- \* 健康リスク 総合は、全体平均95、全国平均100、業種平均100に対して、B課は84です。
- \* 以上より、B課は比較的ストレス状況が良く、各自の健康リスクは高くないようです。今後も良い状態を維持し、さらに向上できるよう、集団改善に取り組んでいきましょう。